

会 計	款	7	商 工 費	所管課	事業名
一 般 会 計	項	1	商 工 費	20 総 務 課	8825 商工事務人件費
	目	1	商工総務費		

		予算額	節	予算額	節	予算額	節	予算額
事業費		86,264	01 報酬	0	11 役務費	0	21 補填補償及び賠償金	0
財 源 内 訳	国庫支出金	0	02 給料	44,466	12 委託料	0	22 償還金利子及び割引料	0
	県支出金	0	03 職員手当等	27,649	13 使用料及び賃借料	0	23 投資及び出資金	0
	地方債	0	04 共済費	14,149	14 工事請負費	0	24 積立金	0
	その他	9,255	05 災害補償費	0	15 原材料費	0	25 寄付金	0
	一般財源	77,009	06 恩給及び退職年金	0	16 公有財産購入費	0	26 公課費	0
今年度見直し内容			07 報償費	0	17 備品購入費	0	27 繰出金	0
			08 旅費	0	18 負担金補助及び交付金	0	30 予備費	0
			09 交際費	0	19 扶助費	0		
			10 需用費	0	20 貸付金	0	計	86,264

事業概要	観光振興・商工振興等に携わる職員の人件費
事業目的	観光振興・商工振興等に従事し、環日本海交流の推進、中海・宍道湖・大山圏域等と連携した観光推進、企業誘致等を行っている。
現状、背景	観光振興課・水産商工課等職員の人件費
その他	

会 計	款	7	商 工 費	所管課	事業名
一 般 会 計	項	1	商 工 費	50 水産商工課	8358 消費者行政推進事業
	目	1	商工総務費		

		予算額	節	予算額	節	予算額	節	予算額
事業費		3,117	01 報酬	1,643	11 役務費	0	21 補填補償及び賠償金	0
財 源 内 訳	国庫支出金	0	02 給料	0	12 委託料	264	22 償還金利子及び割引料	0
	県支出金	134	03 職員手当等	0	13 使用料及び賃借料	0	23 投資及び出資金	0
	地方債	0	04 共済費	296	14 工事請負費	0	24 積立金	0
	その他	0	05 災害補償費	0	15 原材料費	0	25 寄付金	0
	一般財源	2,983	06 恩給及び退職年金	0	16 公有財産購入費	0	26 公課費	0
今年度見直し内容			07 報償費	331	17 備品購入費	0	27 繰出金	0
			08 旅費	277	18 負担金補助及び交付金	0	30 予備費	0
			09 交際費	0	19 扶助費	0		
			10 需用費	306	20 貸付金	0	計	3,117

事業概要	市民からの消費生活相談の相談対応及び啓発活動を目的として市役所内に設置している消費生活相談室の管理運営費。
事業目的	消費者問題の相談対応や啓発を行うことにより、消費生活の不安解消を図る。
現状、背景	平成 13 年度に消費生活相談室を設置し相談員(1 人)を配置。市民の身近な相談窓口として、多重債務・ヤミ金融・悪徳商法・インターネットトラブルをはじめ複雑化する消費者問題の相談に応じ、被害防止の啓発活動にも取り組む。平成 30 年度相談件数 171 件/年。啓発講座 13 回、参加人数 345 人。
その他	地方消費者行政推進交付金（補助率 10/10）の対象事業が平成 29 年度終了。国の政策推進等への対応力強化、国として取組むべき重要消費者政策の推進を支援する地方消費者行政強化交付金（補助率 1/2）が、平成 30 年度より開始。

会 計	款	7	商 工 費	所管課	事業名
一 般 会 計	項	1	商 工 費	10 観光振興課	8894 山陰本線福知山線複線電化促進期成同盟会分担金
	目	2	商工振興費		

		予算額	節	予算額	節	予算額	節	予算額
事業費		4	01 報酬	0	11 役務費	0	21 補填補償及び賠償金	0
財 源 内 訳	国庫支出金	0	02 給料	0	12 委託料	0	22 償還金利子及び割引料	0
	県支出金	0	03 職員手当等	0	13 使用料及び賃借料	0	23 投資及び出資金	0
	地方債	0	04 共済費	0	14 工事請負費	0	24 積立金	0
	その他	0	05 災害補償費	0	15 原材料費	0	25 寄付金	0
	一般財源	4	06 恩給及び退職年金	0	16 公有財産購入費	0	26 公課費	0
今年度見直し内容			07 報償費	0	17 備品購入費	0	27 繰出金	0
			08 旅費	0	18 負担金補助及び交付金	4	30 予備費	0
			09 交際費	0	19 扶助費	0		
			10 需用費	0	20 貸付金	0	計	4

事業概要	国やＪＲ西日本へ山陰本線・福知山線複線電化の要請行動、地域住民に対する路線利用促進の啓発を行っている組織の会費。
事業目的	路線の電化や複線化による利便性の向上を図る。
現状、背景	「山陰本線福知山線複線電化促進期成同盟会」は、山陰本線及び福知山線の複線電化を促進するため、昭和 43 年に設立された。沿線の鳥取、兵庫両県の行政及び自治体、観光協会など 42 団体が加盟し、路線の利便性向上、沿線地の開発、住民福祉の向上にむけ要請活動及び啓発を行っている。
その他	

会 計	款	7	商 工 費	所管課	事業名
一 般 会 計	項	1	商 工 費	10 観光振興課	10856 山陰縦貫・超高速鉄道整備推進市町村会議負担金
	目	2	商工振興費		

		予算額	節	予算額	節	予算額	節	予算額
事業費		30	01 報酬	0	11 役務費	0	21 補填補償及び賠償金	0
財 源 内 訳	国庫支出金	0	02 給料	0	12 委託料	0	22 償還金利子及び割引料	0
	県支出金	0	03 職員手当等	0	13 使用料及び賃借料	0	23 投資及び出資金	0
	地方債	0	04 共済費	0	14 工事請負費	0	24 積立金	0
	その他	0	05 災害補償費	0	15 原材料費	0	25 寄付金	0
	一般財源	30	06 恩給及び退職年金	0	16 公有財産購入費	0	26 公課費	0
今年度見直し内容			07 報償費	0	17 備品購入費	0	27 繰出金	0
			08 旅費	0	18 負担金補助及び交付金	30	30 予備費	0
			09 交際費	0	19 扶助費	0		
			10 需用費	0	20 貸付金	0	計	30

事業概要	山陰新幹線の早期実現のため、基本計画から整備計画への格上げや新幹線整備に係る予算拡大など、国や国会議員への要望活動を行う本会議への負担金を支払う。
事業目的	環日本海・本州西部地域の各都市のポテンシャルを高め、発展していくために山陰新幹線の早期実現を目指す本会議への負担金を支払うことを目的とする。
現状、背景	北陸から山陰を経て下関に至るいわゆる「環日本海・本州西部地域」は、戦後来、基幹道路や高速道路等の基幹的な社会基盤整備が格段に遅れをとっており、大阪市から下関市を日本海側の主要都市を経由して結び”日本海側国土軸”を形成する「山陰新幹線」は、昭和 48 年に基本計画が閣議決定されてから 40 年以上にわたり計画が進展していない。
その他	

会 計	款	7	商 工 費	所管課	事業名
一 般 会 計	項	1	商 工 費	10 観光振興課	10919 中国横断新幹線(伯備新幹線)整備推進会議負担金
	目	2	商工振興費		

		予算額	節	予算額	節	予算額	節	予算額
事業費		175	01 報酬	0	11 役務費	0	21 補填補償及び賠償金	0
財 源 内 訳	国庫支出金	0	02 給料	0	12 委託料	0	22 償還金利子及び割引料	0
	県支出金	0	03 職員手当等	0	13 使用料及び賃借料	0	23 投資及び出資金	0
	地方債	0	04 共済費	0	14 工事請負費	0	24 積立金	0
	その他	0	05 災害補償費	0	15 原材料費	0	25 寄付金	0
	一般財源	175	06 恩給及び退職年金	0	16 公有財産購入費	0	26 公課費	0
今年度見直し内容			07 報償費	0	17 備品購入費	0	27 繰出金	0
			08 旅費	0	18 負担金補助及び交付金	175	30 予備費	0
			09 交際費	0	19 扶助費	0		
			10 需用費	0	20 貸付金	0	計	175

事業概要	中国横断新幹線（伯備新幹線）の早期実現のため、基本計画から整備計画への格上げや新幹線整備に係る予算拡大など、国や国会議員への要望活動を行う本会議への負担金を支払う。
事業目的	中海・宍道湖・大山圏域が、これからも大きく発展していくために中国横断新幹線（伯備新幹線）整備の早期実現を目指す本会議への負担金を支払うことを目的とする。
現状、背景	中海・宍道湖・大山圏域を含む山陰地方は、基幹道路や高速道路等の基幹的な社会基盤整備が他地域と比べ格段に遅れをとっており、中海・宍道湖・大山圏域と山陽側の岡山県を結び、関西圏等の都会地へ繋がる「中国横断新幹線（伯備新幹線）」は、昭和 48 年に基本計画が閣議決定されてから 40 年以上にわたり計画が進展していない。
その他	

会 計	款	7	商 工 費	所管課	事業名
一 般 会 計	項	1	商 工 費	50 水産商工課	8360 企業自立支援事業
	目	2	商工振興費		

		予算額	節	予算額	節	予算額	節	予算額
事業費		1,049,618	01 報酬	0	11 役務費	0	21 補填補償及び賠償金	0
財 源 内 訳	国庫支出金	0	02 給料	0	12 委託料	0	22 償還金利子及び割引料	0
	県支出金	0	03 職員手当等	0	13 使用料及び賃借料	0	23 投資及び出資金	0
	地方債	0	04 共済費	0	14 工事請負費	0	24 積立金	0
	その他	1,049,618	05 災害補償費	0	15 原材料費	0	25 寄付金	0
	一般財源	0	06 恩給及び退職年金	0	16 公有財産購入費	0	26 公課費	0
今年度見直し内容			07 報償費	0	17 備品購入費	0	27 繰出金	0
			08 旅費	0	18 負担金補助及び交付金	0	30 予備費	0
			09 交際費	0	19 扶助費	0		
			10 需用費	0	20 貸付金	1,049,618	計	1,049,618

事業概要	中小企業が新たに借入をする融資及び既に借入れている融資の残高に応じて金融機関に対して、融資原資の一部を預託する。
事業目的	各種制度資金の運用を円滑にすることにより、資金面から中小企業を支援し、経営の安定化を図る。
現状、背景	中小企業が新たな借入を行う融資のうち令和２年度の預託対象 15 資金の見込み。平成 30 年度預託実績 52 件 939,079,606 千円。
その他	

会 計	款	7	商 工 費	所管課	事業名
一 般 会 計	項	1	商 工 費	50 水産商工課	8361 中海・宍道湖・大山圏域ものづくり連携事業実行委員会負担金
	目	2	商工振興費		

		予算額	節	予算額	節	予算額	節	予算額
事業費		1,000	01 報酬	0	11 役務費	0	21 補填補償及び賠償金	0
財 源 内 訳	国庫支出金	0	02 給料	0	12 委託料	0	22 償還金利子及び割引料	0
	県支出金	0	03 職員手当等	0	13 使用料及び賃借料	0	23 投資及び出資金	0
	地方債	0	04 共済費	0	14 工事請負費	0	24 積立金	0
	その他	0	05 災害補償費	0	15 原材料費	0	25 寄付金	0
	一般財源	1,000	06 恩給及び退職年金	0	16 公有財産購入費	0	26 公課費	0
今年度見直し内容			07 報償費	0	17 備品購入費	0	27 繰出金	0
			08 旅費	0	18 負担金補助及び交付金	1,000	30 予備費	0
			09 交際費	0	19 扶助費	0		
			10 需用費	0	20 貸付金	0	計	1,000

事業概要	中海・宍道湖・大山圏域内企業の産業技術の紹介、商談会の開催など連携事業を行い、情報発信や販路開拓を図る。
事業目的	中海・宍道湖・大山圏域で連携しビジネスマッチング商談会を開催し、圏域経済の活性化を図る。
現状、背景	中海圏域の自治体、商工団体で実行委員会を組織し、「中海圏域産業技術展」を平成 17 年度から 23 年度まで開催。平成 24 年度から「ビジネスマッチング事業」に変更。 開催地 米子市（H24）、松江市（H25）、境港市（H26）、出雲市(H27)、松江市(H28)、米子市(H29)、安来市(H30)、出雲市・平田（R1） また平成 25 年度からデータベース作成事業を開始。
その他	令和 2 年度は境港市で開催予定。

会 計	款	7	商 工 費	所管課	事業名
一 般 会 計	項	1	商 工 費	50 水産商工課	8362 境港利用促進事業
	目	2	商工振興費		

		予算額	節	予算額	節	予算額	節	予算額
事業費		385	01 報酬	0	11 役務費	0	21 補填補償及び賠償金	0
財 源 内 訳	国庫支出金	0	02 給料	0	12 委託料	0	22 償還金利子及び割引料	0
	県支出金	0	03 職員手当等	0	13 使用料及び賃借料	15	23 投資及び出資金	0
	地方債	0	04 共済費	0	14 工事請負費	0	24 積立金	0
	その他	0	05 災害補償費	0	15 原材料費	0	25 寄付金	0
	一般財源	385	06 恩給及び退職年金	0	16 公有財産購入費	0	26 公課費	0
今年度見直し内容			07 報償費	33	17 備品購入費	0	27 繰出金	0
			08 旅費	306	18 負担金補助及び交付金	0	30 予備費	0
			09 交際費	0	19 扶助費	0		
			10 需用費	31	20 貸付金	0	計	385

事業概要	コンテナ航路、定期貨客船航路を利用した境港（さかいこう）の貨物取扱量の増加、利便性向上を図るための商談会や、近年のアジアにおけるクルーズ観光の需要の増大を背景に関係機関との情報交換やクルーズ船誘致のためのポートセールス等を実施する。
事業目的	環日本海の交流拠点として境港（さかいこう）の利用促進、航路の充実、クルーズ船の誘致を図り、地域経済の発展に資する。
現状、背景	境港には中国や韓国と接続する定期コンテナ航路が運航されているほか、韓国・ロシアと接続する定期貨客船航路が運航されている。アジアにおけるクルーズ観光の需要の増大や、積極的な誘致活動により、クルーズ船の寄港地として定着しつつある。
その他	

会 計	款	7	商 工 費	所管課	事業名
一 般 会 計	項	1	商 工 費	50 水産商工課	8363 企業誘致推進事業
	目	2	商工振興費		

		予算額	節	予算額	節	予算額	節	予算額
事業費		1,712	01 報酬	0	11 役務費	10	21 補填補償及び賠償金	0
財 源 内 訳	国庫支出金	0	02 給料	0	12 委託料	0	22 償還金利子及び割引料	0
	県支出金	0	03 職員手当等	0	13 使用料及び賃借料	137	23 投資及び出資金	0
	地方債	0	04 共済費	0	14 工事請負費	0	24 積立金	0
	その他	0	05 災害補償費	0	15 原材料費	0	25 寄付金	0
	一般財源	1,712	06 恩給及び退職年金	0	16 公有財産購入費	0	26 公課費	0
今年度見直し内容			07 報償費	39	17 備品購入費	0	27 繰出金	0
			08 旅費	1,052	18 負担金補助及び交付金	0	30 予備費	0
			09 交際費	0	19 扶助費	0		
			10 需用費	474	20 貸付金	0	計	1,712

事業概要	本市への企業誘致のための企業訪問を行うほか、「境港市企業誘致・物産観光推進委員会」を開催し、企業誘致や産業振興のための情報交換、情報提供等を行う。
事業目的	本市への企業誘致に取り組み、地域経済の活性化、雇用創出を図る。
現状、背景	平成 12 年に境港市企業立地・物産観光推進委員会を設置。年 1 回推進委員会を開催し、企業誘致等に関する情報交換を行っている。また、推進委員は日常的に境港市の PR 活動をはじめ、誘致企業や市内企業への取引企業紹介等を行っている。
その他	

会 計	款	7	商 工 費	所管課	事業名
一 般 会 計	項	1	商 工 費	50 水産商工課	8846 鳥取県中小企業団体中央会補助金
	目	2	商工振興費		

		予算額	節	予算額	節	予算額	節	予算額
事業費		180	01 報酬	0	11 役務費	0	21 補填補償及び賠償金	0
財 源 内 訳	国庫支出金	0	02 給料	0	12 委託料	0	22 償還金利子及び割引料	0
	県支出金	0	03 職員手当等	0	13 使用料及び賃借料	0	23 投資及び出資金	0
	地方債	0	04 共済費	0	14 工事請負費	0	24 積立金	0
	その他	0	05 災害補償費	0	15 原材料費	0	25 寄付金	0
	一般財源	180	06 恩給及び退職年金	0	16 公有財産購入費	0	26 公課費	0
今年度見直し内容			07 報償費	0	17 備品購入費	0	27 繰出金	0
			08 旅費	0	18 負担金補助及び交付金	180	30 予備費	0
			09 交際費	0	19 扶助費	0		
			10 需用費	0	20 貸付金	0	計	180

事業概要	中小企業団体中央会が行う組合指導、人材育成・情報事業等に対する補助。
事業目的	中小企業団体中央会が行う人材育成、労働力確保、技術開発、商業活性化等を支援し、中小企業の活性化を図る。
現状、背景	昭和 30 年 11 月に設立。中小企業の組合を会員とする特別法人であり、①組合設立・運営指導②経営相談③販路開拓調査・現実化事業③情報化対策事業・研修会を行っている。市内 154 団体(令和元年 11 月現在)。
その他	

会 計	款	7	商 工 費	所管課	事業名
一 般 会 計	項	1	商 工 費	50 水産商工課	8847 境港中小企業相談所運営費補助金
	目	2	商工振興費		

		予算額	節	予算額	節	予算額	節	予算額
事業費		3,000	01 報酬	0	11 役務費	0	21 補填補償及び賠償金	0
財 源 内 訳	国庫支出金	0	02 給料	0	12 委託料	0	22 償還金利子及び割引料	0
	県支出金	0	03 職員手当等	0	13 使用料及び賃借料	0	23 投資及び出資金	0
	地方債	0	04 共済費	0	14 工事請負費	0	24 積立金	0
	その他	0	05 災害補償費	0	15 原材料費	0	25 寄付金	0
	一般財源	3,000	06 恩給及び退職年金	0	16 公有財産購入費	0	26 公課費	0
今年度見直し内容			07 報償費	0	17 備品購入費	0	27 繰出金	0
			08 旅費	0	18 負担金補助及び交付金	3,000	30 予備費	0
			09 交際費	0	19 扶助費	0		
			10 需用費	0	20 貸付金	0	計	3,000

事業概要	境港商工会議所が設置・運営する「境港中小企業相談所」に係る経費のうち、相談事業、商店街の振興対策事業、中小企業に関する各種調査事業等に対する補助。
事業目的	境港商工会議所に対する支援を通じて、市内の中小企業者の振興及び経済活性化を図る。
現状、背景	中小企業の経営基盤の安定を保つために、経営指導や講習会の開催、金融斡旋、指導などのサポートが不可欠。平成 30 年度実績①経営指導 2,503 件、②金融斡旋 136 件、会議所会員企業数：1,014 社（令和元年 11 月 13 日現在）
その他	

会 計	款	7	商 工 費	所管課	事業名
一 般 会 計	項	1	商 工 費	50 水産商工課	8901 氷温協会会費
	目	2	商工振興費		

		予算額	節	予算額	節	予算額	節	予算額
事業費		60	01 報酬	0	11 役務費	0	21 補填補償及び賠償金	0
財 源 内 訳	国庫支出金	0	02 給料	0	12 委託料	0	22 償還金利子及び割引料	0
	県支出金	0	03 職員手当等	0	13 使用料及び賃借料	0	23 投資及び出資金	0
	地方債	0	04 共済費	0	14 工事請負費	0	24 積立金	0
	その他	0	05 災害補償費	0	15 原材料費	0	25 寄付金	0
	一般財源	60	06 恩給及び退職年金	0	16 公有財産購入費	0	26 公課費	0
今年度見直し内容			07 報償費	0	17 備品購入費	0	27 繰出金	0
			08 旅費	0	18 負担金補助及び交付金	60	30 予備費	0
			09 交際費	0	19 扶助費	0		
			10 需用費	0	20 貸付金	0	計	60

事業概要	0℃から氷結点までの温度領域「氷温域」を利用した氷温食品・氷温機器の認定、氷温技術の普及・調査研究に取り組んでいる氷温協会の会費（一口60,000円）。
事業目的	氷温商品開発、物流システムの構築、機器の開発促進など、県内で培われた氷温技術を活用した地元企業の事業展開の拡大を図る。
現状、背景	昭和 60 年に氷温技術の産業応用を目的として米子市に設立。食品分野を中心に氷温技術が利用されている。 会員 249 社(市内 9 社)、氷温食品認定 787 アイテム(令和元年 10 月 31 日現在)
その他	

会 計	款	7	商 工 費	所管課	事業名
一 般 会 計	項	1	商 工 費	50 水産商工課	8908 鳥取県産業振興機構賛助会費
	目	2	商工振興費		

		予算額	節	予算額	節	予算額	節	予算額
事業費		20	01 報酬	0	11 役務費	0	21 補填補償及び賠償金	0
財 源 内 訳	国庫支出金	0	02 給料	0	12 委託料	0	22 償還金利子及び割引料	0
	県支出金	0	03 職員手当等	0	13 使用料及び賃借料	0	23 投資及び出資金	0
	地方債	0	04 共済費	0	14 工事請負費	0	24 積立金	0
	その他	0	05 災害補償費	0	15 原材料費	0	25 寄付金	0
	一般財源	20	06 恩給及び退職年金	0	16 公有財産購入費	0	26 公課費	0
今年度見直し内容			07 報償費	0	17 備品購入費	0	27 繰出金	0
			08 旅費	0	18 負担金補助及び交付金	20	30 予備費	0
			09 交際費	0	19 扶助費	0		
			10 需用費	0	20 貸付金	0	計	20

事業概要	起業化・経営改善、販路開拓、産学金官連携、人材育成事業を行う地域企業の中核的支援機関の賛助会員会費(一口 20,000 円)。
事業目的	産業振興機構の有する中小企業の経営サポートセンター機能を活用し、市内産業の振興及び活性化を図る。
現状、背景	平成 12 年に関係機関の統合を経て設立。起業化支援、人材育成、販路開拓、産学金官連携を重点目標に掲げ、県内企業を支援している。賛助会員数 669 社、うち市内会員数 54 社(令和元年 11 月 11 日現在)。
その他	

会 計	款	7	商 工 費	所管課	事業名
一 般 会 計	項	1	商 工 費	50 水産商工課	8911 氷温学会会費
	目	2	商工振興費		

		予算額	節	予算額	節	予算額	節	予算額
事業費		20	01 報酬	0	11 役務費	0	21 補填補償及び賠償金	0
財 源 内 訳	国庫支出金	0	02 給料	0	12 委託料	0	22 償還金利子及び割引料	0
	県支出金	0	03 職員手当等	0	13 使用料及び賃借料	0	23 投資及び出資金	0
	地方債	0	04 共済費	0	14 工事請負費	0	24 積立金	0
	その他	0	05 災害補償費	0	15 原材料費	0	25 寄付金	0
	一般財源	20	06 恩給及び退職年金	0	16 公有財産購入費	0	26 公課費	0
今年度見直し内容			07 報償費	0	17 備品購入費	0	27 繰出金	0
			08 旅費	0	18 負担金補助及び交付金	20	30 予備費	0
			09 交際費	0	19 扶助費	0		
			10 需用費	0	20 貸付金	0	計	20

事業概要	氷温領域の学術的研究・調査に取り組んでいる学会の法人会員会費(定額 20,000 円)。
事業目的	氷温技術の研究開発を支援する。
現状、背景	氷温領域を学問的に調査・研究を行う機関として平成 9 年に設立。会報誌の発行、講演会、学術研究発表会、w e b サイト運営、関係大学や研究機関への啓発活動などを精力的に行っている。会員数 56 社、うち市内会員数 2 社(令和元年 10 月 31 日現在)
その他	

会 計	款	7	商 工 費	所管課	事業名
一 般 会 計	項	1	商 工 費	50 水産商工課	8914 日本関税協会会費
	目	2	商工振興費		

		予算額	節	予算額	節	予算額	節	予算額
事業費		58	01 報酬	0	11 役務費	0	21 補填補償及び賠償金	0
財 源 内 訳	国庫支出金	0	02 給料	0	12 委託料	0	22 償還金利子及び割引料	0
	県支出金	0	03 職員手当等	0	13 使用料及び賃借料	0	23 投資及び出資金	0
	地方債	0	04 共済費	0	14 工事請負費	0	24 積立金	0
	その他	0	05 災害補償費	0	15 原材料費	0	25 寄付金	0
	一般財源	58	06 恩給及び退職年金	0	16 公有財産購入費	0	26 公課費	0
今年度見直し内容			07 報償費	0	17 備品購入費	0	27 繰出金	0
			08 旅費	0	18 負担金補助及び交付金	58	30 予備費	0
			09 交際費	0	19 扶助費	0		
			10 需用費	0	20 貸付金	0	計	58

事業概要	関税行政や貿易に関する周知や情報提供等を実施する日本関税協会への会費
事業目的	貿易に関する最新情報の収集及び貿易関係機関との意見交換等を行い、境港の貿易促進を図る。
現状、背景	日本関税協会は昭和 24 年設立。境港協議会は昭和 53 年設立。日本関税協会は関税行政に関する法令・通達等の情報提供を行っている。境港協議会は、境税関支署を中心に会員団体との意見交換のほか、境港における貿易概況説明会を開催している。
その他	

会 計	款	7	商 工 費	所管課	事業名
一 般 会 計	項	1	商 工 費	50 水産商工課	8931 企業信用調査会費
	目	2	商工振興費		

		予算額	節	予算額	節	予算額	節	予算額
事業費		176	01 報酬	0	11 役務費	0	21 補填補償及び賠償金	0
財 源 内 訳	国庫支出金	0	02 給料	0	12 委託料	0	22 償還金利子及び割引料	0
	県支出金	0	03 職員手当等	0	13 使用料及び賃借料	0	23 投資及び出資金	0
	地方債	0	04 共済費	0	14 工事請負費	0	24 積立金	0
	その他	0	05 災害補償費	0	15 原材料費	0	25 寄付金	0
	一般財源	176	06 恩給及び退職年金	0	16 公有財産購入費	0	26 公課費	0
今年度見直し内容			07 報償費	0	17 備品購入費	0	27 繰出金	0
			08 旅費	0	18 負担金補助及び交付金	176	30 予備費	0
			09 交際費	0	19 扶助費	0		
			10 需用費	0	20 貸付金	0	計	176

事業概要	中小企業の企業情報及び分析結果のオンラインサービスに加え、景気状況や企業動向の情報の提供を受けるための調査会員加盟料及びオンラインサービス利用料。
事業目的	企業の経済状況等の、最新かつ確実な情報を入手する。
現状、背景	明治 33 年、帝国興信社が創業され、社名変更等を経て昭和 62 年に株式会社帝国データバンク設立。日本国内最大手の信用調査会社であり、企業信用調査及び企業データベースの提供を行っている。企業誘致活動に際し、訪問先企業の情報を入手。
その他	

会 計	款	7	商 工 費	所管課	事業名
一 般 会 計	項	1	商 工 費	50 水産商工課	8937 境港貿易振興会補助金
	目	2	商工振興費		

		予算額	節	予算額	節	予算額	節	予算額
事業費		5,671	01 報酬	0	11 役務費	0	21 補填補償及び賠償金	0
財 源 内 訳	国庫支出金	0	02 給料	0	12 委託料	0	22 償還金利子及び割引料	0
	県支出金	0	03 職員手当等	0	13 使用料及び賃借料	0	23 投資及び出資金	0
	地方債	0	04 共済費	0	14 工事請負費	0	24 積立金	0
	その他	0	05 災害補償費	0	15 原材料費	0	25 寄付金	0
	一般財源	5,671	06 恩給及び退職年金	0	16 公有財産購入費	0	26 公課費	0
今年度見直し内容			07 報償費	0	17 備品購入費	0	27 繰出金	0
			08 旅費	0	18 負担金補助及び交付金	5,671	30 予備費	0
			09 交際費	0	19 扶助費	0		
			10 需用費	0	20 貸付金	0	計	5,671

事業概要	境港（さかいこう）のポートセールスはもとより、実際に境港を利用する企業の支援を行っている境港貿易振興会に対する補助金
事業目的	環日本海のヒト・モノが行き交う交流拠点を目指し、境港（さかいこう）の利用促進を図る。
現状、背景	平成7年に設立。会長は境港市長。現在、中国航路と韓国航路の定期コンテナ航路に加え、国際フェリー航路としては日・韓・ロ定期貨客船航路が開設されており、さらに平成23年には「国際海上コンテナ」、「外航クルーズ（背後観光地クルーズ）」、「原木」の3機能で日本海側拠点港の選定を受けたことにより、一層の境港の利用促進が必要。
その他	

会 計	款	7	商 工 費	所管課	事業名
一 般 会 計	項	1	商 工 費	50 水産商工課	8944 ジェトロ負担金
	目	2	商工振興費		

		予算額	節	予算額	節	予算額	節	予算額
事業費		318	01 報酬	0	11 役務費	0	21 補填補償及び賠償金	0
財 源 内 訳	国庫支出金	0	02 給料	0	12 委託料	0	22 償還金利子及び割引料	0
	県支出金	0	03 職員手当等	0	13 使用料及び賃借料	0	23 投資及び出資金	0
	地方債	0	04 共済費	0	14 工事請負費	0	24 積立金	0
	その他	0	05 災害補償費	0	15 原材料費	0	25 寄付金	0
	一般財源	318	06 恩給及び退職年金	0	16 公有財産購入費	0	26 公課費	0
今年度見直し内容			07 報償費	0	17 備品購入費	0	27 繰出金	0
			08 旅費	0	18 負担金補助及び交付金	318	30 予備費	0
			09 交際費	0	19 扶助費	0		
			10 需用費	0	20 貸付金	0	計	318

事業概要	地元企業の貿易支援を行う J E T R O （日本貿易振興機構）鳥取貿易情報センターの事業に対する負担金
事業目的	地元企業の貿易支援を行う J E T R O （日本貿易振興機構）鳥取貿易情報センターの事業費を負担し、市内企業の海外進出、販路拡大等の促進を図る。
現状、背景	貿易情報センターは平成 8 年 10 月開設、所在地は鳥取市。貿易セミナーや商談会、貿易実務講座を開催するとともに、地元企業の貿易相談を受け付けている。
その他	

会 計	款	7	商 工 費	所管課	事業名
一 般 会 計	項	1	商 工 費	50 水産商工課	8952 企業立地促進補助金
	目	2	商工振興費		

		予算額	節	予算額	節	予算額	節	予算額
事業費		1,929	01 報酬	0	11 役務費	0	21 補填補償及び賠償金	0
財 源 内 訳	国庫支出金	0	02 給料	0	12 委託料	0	22 償還金利子及び割引料	0
	県支出金	0	03 職員手当等	0	13 使用料及び賃借料	0	23 投資及び出資金	0
	地方債	0	04 共済費	0	14 工事請負費	0	24 積立金	0
	その他	0	05 災害補償費	0	15 原材料費	0	25 寄付金	0
	一般財源	1,929	06 恩給及び退職年金	0	16 公有財産購入費	0	26 公課費	0
今年度見直し内容			07 報償費	0	17 備品購入費	0	27 繰出金	0
			08 旅費	0	18 負担金補助及び交付金	1,929	30 予備費	0
			09 交際費	0	19 扶助費	0		
			10 需用費	0	20 貸付金	0	計	1,929

事業概要	境港市に進出する事業者、もしくは夕日ヶ丘地区に進出する小売業事業者に対し、地元雇用を要件として、立地後初年度の固定資産税相当額を3か年度にわたって補助金として交付する。
事業目的	境港市への企業誘致に取り組み、雇用の拡大及び地域経済の活性化を図る。
現状、背景	企業立地促進補助金交付要綱は昭和 61 年、工場立地促進補助金交付要綱は平成 3 年、夕日ヶ丘地区小売業立地促進補助金交付要綱は平成 26 年に制定。平成 27 年 10 月に策定された総合戦略において、企業誘致等により 5 年間で 150 人の雇用創出が目標とされている。
その他	

会 計	款	7	商 工 費	所管課	事業名
一 般 会 計	項	1	商 工 費	50 水産商工課	9622 企業立地及び雇用拡大推進事業補助金
	目	2	商工振興費		

		予算額	節	予算額	節	予算額	節	予算額
事業費		2,000	01 報酬	0	11 役務費	0	21 補填補償及び賠償金	0
財 源 内 訳	国庫支出金	0	02 給料	0	12 委託料	0	22 償還金利子及び割引料	0
	県支出金	0	03 職員手当等	0	13 使用料及び賃借料	0	23 投資及び出資金	0
	地方債	0	04 共済費	0	14 工事請負費	0	24 積立金	0
	その他	0	05 災害補償費	0	15 原材料費	0	25 寄付金	0
	一般財源	2,000	06 恩給及び退職年金	0	16 公有財産購入費	0	26 公課費	0
今年度見直し内容			07 報償費	0	17 備品購入費	0	27 繰出金	0
			08 旅費	0	18 負担金補助及び交付金	2,000	30 予備費	0
			09 交際費	0	19 扶助費	0		
			10 需用費	0	20 貸付金	0	計	2,000

事業概要	「境港市企業立地の促進と雇用の拡大に関する条例」を活用し、企業立地及び雇用拡大を推進する。
事業目的	企業に対する支援措置により、企業立地を促進し雇用の拡大を図る。
現状、背景	企業誘致推進において他市との差異化を図るため、「境港市企業立地の促進と雇用の拡大に関する条例」を平成 20 年 10 月 1 日より施行。平成 25 年 6 月には支援措置を一部改正し、進出企業の様々なニーズに対応。平成 27 年 10 月に策定された総合戦略において、企業誘致等により 5 年間で 150 人の雇用創出が目標とされている。
その他	

会 計	款	7	商 工 費	所管課	事業名
一 般 会 計	項	1	商 工 費	50 水産商工課	9670 境港市海外企業進出促進事業補助金
	目	2	商工振興費		

		予算額	節	予算額	節	予算額	節	予算額
事業費		240	01 報酬	0	11 役務費	0	21 補填補償及び賠償金	0
財 源 内 訳	国庫支出金	0	02 給料	0	12 委託料	0	22 償還金利子及び割引料	0
	県支出金	0	03 職員手当等	0	13 使用料及び賃借料	0	23 投資及び出資金	0
	地方債	0	04 共済費	0	14 工事請負費	0	24 積立金	0
	その他	0	05 災害補償費	0	15 原材料費	0	25 寄付金	0
	一般財源	240	06 恩給及び退職年金	0	16 公有財産購入費	0	26 公課費	0
今年度見直し内容			07 報償費	0	17 備品購入費	0	27 繰出金	0
			08 旅費	0	18 負担金補助及び交付金	240	30 予備費	0
			09 交際費	0	19 扶助費	0		
			10 需用費	0	20 貸付金	0	計	240

事業概要	環日本海定期貨客船航路を利用したビジネスを行う海外企業の境港市への進出を促進するため、企業の進出にかかる初動経費を補助する。
事業目的	海外企業の進出を促進することにより、環日本海定期貨客船の利用促進を進め、地域経済の活性化を図る。
現状、背景	環日本海定期貨客船の就航以後、海外企業の境港市への進出事例が見られるようになった。地元企業のビジネスチャンスを広げるためにも、更なる海外企業の進出促進を図る。
その他	

会 計	款	7	商 工 費	所管課	事業名
一 般 会 計	項	1	商 工 費	50 水産商工課	10190 鳥取県西部地域企業立地促進補助金
	目	2	商工振興費		

		予算額	節	予算額	節	予算額	節	予算額
事業費		1,800	01 報酬	0	11 役務費	0	21 補填補償及び賠償金	0
財 源 内 訳	国庫支出金	0	02 給料	0	12 委託料	0	22 償還金利子及び割引料	0
	県支出金	0	03 職員手当等	0	13 使用料及び賃借料	0	23 投資及び出資金	0
	地方債	0	04 共済費	0	14 工事請負費	0	24 積立金	0
	その他	0	05 災害補償費	0	15 原材料費	0	25 寄付金	0
	一般財源	1,800	06 恩給及び退職年金	0	16 公有財産購入費	0	26 公課費	0
今年度見直し内容			07 報償費	0	17 備品購入費	0	27 繰出金	0
			08 旅費	0	18 負担金補助及び交付金	1,800	30 予備費	0
			09 交際費	0	19 扶助費	0		
			10 需用費	0	20 貸付金	0	計	1,800

事業概要	鳥取県西部地域へ進出企業を支援するための補助金
事業目的	鳥取県西部地区における企業立地を促進し、産業構造の高度化及び雇用機会の拡大を図る。
現状、背景	鳥取県西部地域9市町村で協調し、平成 24 年度に鳥取県西部地域企業立地促進補助金制度を創設。平成 26 年度に補助対象を拡大。鳥取県西部地域内で工場等を新設又は増設し、境港市内在住者を雇用した企業に対し補助金を交付する。平成 25 年度実績 2 人。平成 26 年度実績 2 人。平成 27 年度実績 2 人、平成 28 年度実績なし。平成 29 年度実績 1 人。平成 30 年度実績 13 人
その他	H30 年度で新規認定は終了。既に認定済みの事業者のみ補助金の交付申請が可能。

会 計	款	7	商 工 費	所管課	事業名
一 般 会 計	項	1	商 工 費	50 水産商工課	10228 就職支援サイト運営事業
	目	2	商工振興費		

		予算額	節	予算額	節	予算額	節	予算額
事業費		1,405	01 報酬	0	11 役務費	0	21 補填補償及び賠償金	0
財 源 内 訳	国庫支出金	0	02 給料	0	12 委託料	0	22 償還金利子及び割引料	0
	県支出金	0	03 職員手当等	0	13 使用料及び賃借料	0	23 投資及び出資金	0
	地方債	0	04 共済費	0	14 工事請負費	0	24 積立金	0
	その他	0	05 災害補償費	0	15 原材料費	0	25 寄付金	0
	一般財源	1,405	06 恩給及び退職年金	0	16 公有財産購入費	0	26 公課費	0
今年度見直し内容			07 報償費	0	17 備品購入費	0	27 繰出金	0
			08 旅費	0	18 負担金補助及び交付金	1,405	30 予備費	0
			09 交際費	0	19 扶助費	0		
			10 需用費	0	20 貸付金	0	計	1,405

事業概要	中海圏域での就職を希望する学生や、移住を検討している方に対し、圏域内企業の魅力を発信するためのウェブサイトへの運営負担金
事業目的	インターネットを利用し、新卒大学生や移住希望者に中海圏域の地元企業の魅力を紹介し、ＩＪＵターン就職を後押しすることを目的とする。
現状、背景	松江市が平成２２年２月に「まつえ就職ナビ」を設立。平成２６年度から、境港市・米子市・安来市が参加し、新卒大学生の中海圏域における就職を促進している。平成３０年度、WEB サイトのリニューアルを実施。これまでの圏域企業の求人サイトから、働く社員や社長が動画でＰＲする企業紹介・情報発信サイトにリニューアル。
その他	

会 計	款	7	商 工 費	所管課	事業名
一 般 会 計	項	1	商 工 費	50 水産商工課	10270 経営改善資金利子補給金
	目	2	商工振興費		

		予算額	節	予算額	節	予算額	節	予算額
事業費		1,341	01 報酬	0	11 役務費	0	21 補填補償及び賠償金	0
財 源 内 訳	国庫支出金	0	02 給料	0	12 委託料	0	22 償還金利子及び割引料	0
	県支出金	0	03 職員手当等	0	13 使用料及び賃借料	0	23 投資及び出資金	0
	地方債	0	04 共済費	0	14 工事請負費	0	24 積立金	0
	その他	0	05 災害補償費	0	15 原材料費	0	25 寄付金	0
	一般財源	1,341	06 恩給及び退職年金	0	16 公有財産購入費	0	26 公課費	0
今年度見直し内容			07 報償費	0	17 備品購入費	0	27 繰出金	0
			08 旅費	0	18 負担金補助及び交付金	1,341	30 予備費	0
			09 交際費	0	19 扶助費	0		
			10 需用費	0	20 貸付金	0	計	1,341

事業概要	日本政策金融公庫から無担保・無保証人で融資が受けられる国の制度において、市が借入から3年間支払利子の1/2を補助する。
事業目的	経営改善を図ろうとする市内小規模事業者の負担を軽減し、事業活動の安定化・円滑化を支援する。
現状、背景	平成26年度より利子補給制度を導入。支払利子の1/2を補助。
その他	

会 計	款	7	商 工 費	所管課	事業名
一 般 会 計	項	1	商 工 費	50 水産商工課	10476 創業支援事業
	目	2	商工振興費		

		予算額	節	予算額	節	予算額	節	予算額
事業費		3,000	01 報酬	0	11 役務費	0	21 補填補償及び賠償金	0
財 源 内 訳	国庫支出金	0	02 給料	0	12 委託料	0	22 償還金利子及び割引料	0
	県支出金	0	03 職員手当等	0	13 使用料及び賃借料	0	23 投資及び出資金	0
	地方債	0	04 共済費	0	14 工事請負費	0	24 積立金	0
	その他	0	05 災害補償費	0	15 原材料費	0	25 寄付金	0
	一般財源	3,000	06 恩給及び退職年金	0	16 公有財産購入費	0	26 公課費	0
今年度見直し内容			07 報償費	0	17 備品購入費	0	27 繰出金	0
			08 旅費	0	18 負担金補助及び交付金	3,000	30 予備費	0
			09 交際費	0	19 扶助費	0		
			10 需用費	0	20 貸付金	0	計	3,000

事業概要	創業時の設備投資、家賃等を補助することで創業のスタートアップを支援する。
事業目的	市内の新規出店を促進し、市内定住と地域経済の活性化に資することを目的とする。
現状、背景	平成 26 年 10 月から鳥取県西部 9 市町村で連携して創業支援に取り組んでいる。国の方針として、開業率を欧米並みの 10%程度まで引き上げることが目標とされている。境港市総合戦略に盛り込まれた創業支援制度により雇用創出に資するもの。 平成 27 年度実績 5 件、28 年度実績 5 件、29 年度実績 5 件、30 年度実績 6 件 これまで創業者 21 人、従業員 19 人の雇用を創出している。
その他	

会 計	款	7	商 工 費	所管課	事業名
一 般 会 計	項	1	商 工 費	50 水産商工課	10523 ジュニア世代創業チャレンジセミナー支援事業
	目	2	商工振興費		

		予算額	節	予算額	節	予算額	節	予算額
事業費		50	01 報酬	0	11 役務費	0	21 補填補償及び賠償金	0
財 源 内 訳	国庫支出金	0	02 給料	0	12 委託料	0	22 償還金利子及び割引料	0
	県支出金	0	03 職員手当等	0	13 使用料及び賃借料	0	23 投資及び出資金	0
	地方債	0	04 共済費	0	14 工事請負費	0	24 積立金	0
	その他	0	05 災害補償費	0	15 原材料費	0	25 寄付金	0
	一般財源	50	06 恩給及び退職年金	0	16 公有財産購入費	0	26 公課費	0
今年度見直し内容			07 報償費	0	17 備品購入費	0	27 繰出金	0
			08 旅費	0	18 負担金補助及び交付金	50	30 予備費	0
			09 交際費	0	19 扶助費	0		
			10 需用費	0	20 貸付金	0	計	50

事業概要	鳥取県西部圏域の高校生や小中学生を対象に、創業とその魅力の理解を深め、創業に係る基本的な知識を習得することを目的とした、米子商工会議所が主催するセミナーを支援する。
事業目的	創業の啓発による創業自体の促進、創業の早期準備、創業計画策定・実施の早期化と質向上を目的とし、ひいては将来的な新たな雇用の創出と地域活性化に資することを目的とする。
現状、背景	平成 26 年 10 月より鳥取県西部 9 市町村で連携して創業支援に取り組んでいる。国の方針として、開業率を欧米並みの 10%程度まで引き上げることが目標とされている。平成 28 年度参加者 小学生 57 名、中学生 11 名、高校生 17 名参加 平成 29 年度参加者 小学生 27 名（小学生向けのみ実施）平成 30 年度参加者 （小学生 36 名、中・高生 11 名）
その他	

会 計	款	7	商 工 費	所管課	事業名
一 般 会 計	項	1	商 工 費	50 水産商工課	10837 平成 30 年7月豪雨災害緊急対策事業利子補助金
	目	2	商工振興費		

		予算額	節	予算額	節	予算額	節	予算額
事業費		141	01 報酬	0	11 役務費	0	21 補填補償及び賠償金	0
財 源 内 訳	国庫支出金	0	02 給料	0	12 委託料	0	22 償還金利子及び割引料	0
	県支出金	70	03 職員手当等	0	13 使用料及び賃借料	0	23 投資及び出資金	0
	地方債	0	04 共済費	0	14 工事請負費	0	24 積立金	0
	その他	0	05 災害補償費	0	15 原材料費	0	25 寄付金	0
	一般財源	71	06 恩給及び退職年金	0	16 公有財産購入費	0	26 公課費	0
今年度見直し内容			07 報償費	0	17 備品購入費	0	27 繰出金	0
			08 旅費	0	18 負担金補助及び交付金	141	30 予備費	0
			09 交際費	0	19 扶助費	0		
			10 需用費	0	20 貸付金	0	計	141

事業概要	平成 30 年 7 月 5 日からの記録的な大雨により経営の安定に深刻な影響が生じている市内中小企業者等が「境港市災害等緊急対策資金制度」による融資を受けた際の利子について 3 年間補助するもの
事業目的	当該融資の新規借りに係る利子について補助することで、利子負担の軽減、経営の安定化を図ることを目的とする。
現状、背景	平成 30 年 7 月豪雨により、県内でも観光客等の減少、物流の停滞、宿泊のキャンセルなどの被害が生じた。
その他	

会 計	款	7	商 工 費	所管課	事業名
一 般 会 計	項	1	商 工 費	30 財 政 課	8374 水木しげる基金積立金
	目	3	観 光 費		

		予算額	節	予算額	節	予算額	節	予算額
事業費		2	01 報酬	0	11 役務費	0	21 補填補償及び賠償金	0
財 源 内 訳	国庫支出金	0	02 給料	0	12 委託料	0	22 償還金利子及び割引料	0
	県支出金	0	03 職員手当等	0	13 使用料及び賃借料	0	23 投資及び出資金	0
	地方債	0	04 共済費	0	14 工事請負費	0	24 積立金	2
	その他	1	05 災害補償費	0	15 原材料費	0	25 寄付金	0
	一般財源	1	06 恩給及び退職年金	0	16 公有財産購入費	0	26 公課費	0
今年度見直し内容			07 報償費	0	17 備品購入費	0	27 繰出金	0
			08 旅費	0	18 負担金補助及び交付金	0	30 予備費	0
			09 交際費	0	19 扶助費	0		
			10 需用費	0	20 貸付金	0	計	2

事業概要	水木しげるロードや記念館など水木しげる関連事業の促進のため、個人又は団体からの寄附金などを、水木しげる基金に積み立てるもの。当初予算では、基金の運用収入（預金利子）等を計上している。
事業目的	水木しげる関連事業への指定寄附金等を水木しげる基金に積み立て、水木しげるロード等の振興を図り、観光客のさらなる誘客につなげる。
現状、背景	境港市水木しげる基金は、水木しげる関連事業の促進及び振興を図るため平成7年度に設置している。
その他	

会 計	款	7	商 工 費	所管課	事業名
一 般 会 計	項	1	商 工 費	10 観光振興課	8368 観光振興一般管理費
	目	3	観 光 費		

		予算額	節	予算額	節	予算額	節	予算額
事業費		2,751	01 報酬	0	11 役務費	42	21 補填補償及び賠償金	0
財 源 内 訳	国庫支出金	0	02 給料	0	12 委託料	0	22 償還金利子及び割引料	0
	県支出金	0	03 職員手当等	0	13 使用料及び賃借料	2,220	23 投資及び出資金	0
	地方債	0	04 共済費	0	14 工事請負費	0	24 積立金	0
	その他	0	05 災害補償費	0	15 原材料費	0	25 寄付金	0
	一般財源	2,751	06 恩給及び退職年金	0	16 公有財産購入費	0	26 公課費	17
今年度見直し内容			07 報償費	0	17 備品購入費	0	27 繰出金	0
			08 旅費	0	18 負担金補助及び交付金	0	30 予備費	0
			09 交際費	0	19 扶助費	0		
			10 需用費	472	20 貸付金	0	計	2,751

事業概要	観光振興のための事務に必要な経費を計上している。
事業目的	事務の遂行により観光の振興を図る。
現状、背景	公用車や観光案内看板等の維持経費を例年どおり支出。外国語の観光パンフレットを年次的に整備し、外国人観光客への対応をしている。
その他	

会 計	款	7	商 工 費	所管課	事業名
一 般 会 計	項	1	商 工 費	10 観光振興課	8371 とっとりコンベンションビューロー運営費負担金
	目	3	観 光 費		

		予算額	節	予算額	節	予算額	節	予算額
事業費		1,567	01 報酬	0	11 役務費	0	21 補填補償及び賠償金	0
財 源 内 訳	国庫支出金	0	02 給料	0	12 委託料	0	22 償還金利子及び割引料	0
	県支出金	0	03 職員手当等	0	13 使用料及び賃借料	0	23 投資及び出資金	0
	地方債	0	04 共済費	0	14 工事請負費	0	24 積立金	0
	その他	0	05 災害補償費	0	15 原材料費	0	25 寄付金	0
	一般財源	1,567	06 恩給及び退職年金	0	16 公有財産購入費	0	26 公課費	0
今年度見直し内容			07 報償費	0	17 備品購入費	0	27 繰出金	0
			08 旅費	0	18 負担金補助及び交付金	1,567	30 予備費	0
			09 交際費	0	19 扶助費	0		
			10 需用費	0	20 貸付金	0	計	1,567

事業概要	とっとりコンベンションビューローの誘致事業費(誘致事業、調査企画事業、広報宣伝事業など)の 1/2 を鳥取県が負担し、残り 1/2 を県内 4 市で負担する。
事業目的	コンベンションの誘致促進により県内の産業・観光振興、交流人口の拡大を図る。
現状、背景	とっとりコンベンションビューローは、鳥取県内での会議等の開催誘致を目的として平成 7 年度に設立された。 【平成 28 年度誘致実績】コンベンション開催件数：399 件 参加人数：85,596 人
その他	

会 計	款	7	商 工 費	所管課	事業名
一 般 会 計	項	1	商 工 費	10 観光振興課	8372 境港市観光協会補助金
	目	3	観 光 費		

		予算額	節	予算額	節	予算額	節	予算額
事業費		33,173	01 報酬	0	11 役務費	0	21 補填補償及び賠償金	0
財 源 内 訳	国庫支出金	0	02 給料	0	12 委託料	0	22 償還金利子及び割引料	0
	県支出金	0	03 職員手当等	0	13 使用料及び賃借料	0	23 投資及び出資金	0
	地方債	0	04 共済費	0	14 工事請負費	0	24 積立金	0
	その他	0	05 災害補償費	0	15 原材料費	0	25 寄付金	0
	一般財源	33,173	06 恩給及び退職年金	0	16 公有財産購入費	0	26 公課費	0
今年度見直し内容			07 報償費	0	17 備品購入費	0	27 繰出金	0
			08 旅費	0	18 負担金補助及び交付金	33,173	30 予備費	0
			09 交際費	0	19 扶助費	0		
			10 需用費	0	20 貸付金	0	計	33,173

事業概要	境港市観光協会の人件費、企画・宣伝事業費、案内所運営費について、5～10 割を補助。
事業目的	境港市観光協会の事業を通じ、本市観光の情報発信、観光客の受入事業の充実等観光振興を図る。
現状、背景	人件費及び公益的事業については一定の割合で補助を行い、収益事業については裁量の幅を広げることにより、観光協会のインセンティブを高め、融通の効く事業展開及び質の高いサービス提供の実現をめざす。
その他	

会 計	款	7	商 工 費	所管課	事業名
一 般 会 計	項	1	商 工 費	10 観光振興課	8375 米子鬼太郎空港ターミナル物産観光PR事業
	目	3	観 光 費		

		予算額	節	予算額	節	予算額	節	予算額
事業費		1,128	01 報酬	0	11 役務費	1,128	21 補填補償及び賠償金	0
財 源 内 訳	国庫支出金	0	02 給料	0	12 委託料	0	22 償還金利子及び割引料	0
	県支出金	0	03 職員手当等	0	13 使用料及び賃借料	0	23 投資及び出資金	0
	地方債	0	04 共済費	0	14 工事請負費	0	24 積立金	0
	その他	0	05 災害補償費	0	15 原材料費	0	25 寄付金	0
	一般財源	1,128	06 恩給及び退職年金	0	16 公有財産購入費	0	26 公課費	0
今年度見直し内容			07 報償費	0	17 備品購入費	0	27 繰出金	0
			08 旅費	0	18 負担金補助及び交付金	0	30 予備費	0
			09 交際費	0	19 扶助費	0		
			10 需用費	0	20 貸付金	0	計	1,128

事業概要	米子空港ビル 2 階出発ロビーの電照広告パネル掲出料。
事業目的	空港利用者に対して、大型電照パネルでの観光 P R を行い、本市のイメージアップを図り、誘客促進に繋げる。
現状、背景	米子空港は、平成 22 年 7 月に「米子鬼太郎空港」に愛称化され、水木しげるワールドの一部として、ますますの誘客効果が見込まれる。同空港において、本市の観光を確実に P R していく必要がある。
その他	

会 計	款	7	商 工 費	所管課	事業名
一 般 会 計	項	1	商 工 費	10 観光振興課	8376 観光案内所運営事業
	目	3	観 光 費		

		予算額	節	予算額	節	予算額	節	予算額
事業費		1,021	01 報酬	0	11 役務費	0	21 補填補償及び賠償金	0
財 源 内 訳	国庫支出金	0	02 給料	0	12 委託料	21	22 償還金利子及び割引料	0
	県支出金	0	03 職員手当等	0	13 使用料及び賃借料	610	23 投資及び出資金	0
	地方債	0	04 共済費	0	14 工事請負費	0	24 積立金	0
	その他	0	05 災害補償費	0	15 原材料費	0	25 寄付金	0
	一般財源	1,021	06 恩給及び退職年金	0	16 公有財産購入費	0	26 公課費	0
今年度見直し内容			07 報償費	0	17 備品購入費	0	27 繰出金	0
			08 旅費	0	18 負担金補助及び交付金	0	30 予備費	0
			09 交際費	0	19 扶助費	0		
			10 需用費	390	20 貸付金	0	計	1,021

事業概要	境港市観光案内所の維持管理費。
事業目的	市内及び周辺観光の案内・紹介などを通じ観光客のさまざまな観光ニーズに対応するとともに、おもてなし及び観光客の利便性の向上をはかる。
現状、背景	観光客等への観光案内、ホームページの管理運営、物販・レンタサイクル等のサービスを実施。 【平成 30 年度実績】問い合わせ件数：130,822 件、1 日平均 358 件
その他	

会 計	款	7	商 工 費	所管課	事業名
一 般 会 計	項	1	商 工 費	10 観光振興課	8378 Sun－inビーチバレー大会開催補助金
	目	3	観 光 費		

		予算額	節	予算額	節	予算額	節	予算額
事業費		800	01 報酬	0	11 役務費	0	21 補填補償及び賠償金	0
財 源 内 訳	国庫支出金	0	02 給料	0	12 委託料	0	22 償還金利子及び割引料	0
	県支出金	0	03 職員手当等	0	13 使用料及び賃借料	0	23 投資及び出資金	0
	地方債	0	04 共済費	0	14 工事請負費	0	24 積立金	0
	その他	0	05 災害補償費	0	15 原材料費	0	25 寄付金	0
	一般財源	800	06 恩給及び退職年金	0	16 公有財産購入費	0	26 公課費	0
今年度見直し内容			07 報償費	0	17 備品購入費	0	27 繰出金	0
			08 旅費	0	18 負担金補助及び交付金	800	30 予備費	0
			09 交際費	0	19 扶助費	0		
			10 需用費	0	20 貸付金	0	計	800

事業概要	全国ビーチバレー協会公認のビーチバレー大会の開催事業費に対する補助。
事業目的	ビーチバレーの全国大会を通じて、白砂青松の美しい弓ヶ浜など境港市のPRを図る。また、市内小学生を対象に行われるバレー教室による競技の普及を図る。
現状、背景	令和２年度で第33回目の開催となるビーチバレー大会であり、全国最大規模の大会として定着。毎回、県内外から約200人の参加者がある。
その他	

会 計	款	7	商 工 費	所管課	事業名
一 般 会 計	項	1	商 工 費	10 観光振興課	8379 水木しげる記念館運営事業
	目	3	観 光 費		

		予算額	節	予算額	節	予算額	節	予算額
事業費		70,670	01 報酬	18,378	11 役務費	4,344	21 補填補償及び賠償金	0
財 源 内 訳	国庫支出金	0	02 給料	0	12 委託料	5,111	22 償還金利子及び割引料	0
	県支出金	0	03 職員手当等	1,324	13 使用料及び賃借料	15,778	23 投資及び出資金	0
	地方債	0	04 共済費	2,046	14 工事請負費	0	24 積立金	0
	その他	70,670	05 災害補償費	0	15 原材料費	0	25 寄付金	0
	一般財源	0	06 恩給及び退職年金	0	16 公有財産購入費	0	26 公課費	0
今年度見直し内容			07 報償費	0	17 備品購入費	190	27 繰出金	0
			08 旅費	810	18 負担金補助及び交付金	500	30 予備費	0
			09 交際費	0	19 扶助費	0		
			10 需用費	22,189	20 貸付金	0	計	70,670

事業概要	水木しげる記念館の運営管理経費。
事業目的	「水木しげるロード」の核施設である「水木しげる記念館」を運営する。本市出身の水木氏に関する作品等の展示・紹介を行い、氏の功績を称えるとともに観光客の誘客を図り、観光事業の振興・発展に資する。
現状、背景	境港市出身の漫画家、水木しげる氏の作品及び足跡、世界観を広く紹介する「水木しげる記念館」は平成 15 年 3 月 8 日(水木しげる氏 81 歳の誕生日)に合わせてオープン。開館 5 周年の平成 20 年度には、1 階展示替及び音声ガイドンス整備(5 ヶ国語)を実施し国内外の誘客対策を強化。平成 22 年は過去最高の入館者数（411,006 人）を記録。開館 10 周年の平成 24 年 3 月 8 日には、オープン後初的大幅リニューアルを実施。平成 30 年の開館 15 周年には、アニメ展示を実施。
その他	

会 計	款	7	商 工 費	所管課	事業名
一 般 会 計	項	1	商 工 費	10 観光振興課	8381 河童の泉管理事業
	目	3	観 光 費		

		予算額	節	予算額	節	予算額	節	予算額
事業費		693	01 報酬	0	11 役務費	0	21 補填補償及び賠償金	0
財 源 内 訳	国庫支出金	0	02 給料	0	12 委託料	198	22 償還金利子及び割引料	0
	県支出金	0	03 職員手当等	0	13 使用料及び賃借料	0	23 投資及び出資金	0
	地方債	0	04 共済費	0	14 工事請負費	0	24 積立金	0
	その他	237	05 災害補償費	0	15 原材料費	0	25 寄付金	0
	一般財源	456	06 恩給及び退職年金	0	16 公有財産購入費	0	26 公課費	0
今年度見直し内容			07 報償費	0	17 備品購入費	0	27 繰出金	0
			08 旅費	0	18 負担金補助及び交付金	0	30 予備費	0
			09 交際費	0	19 扶助費	0		
			10 需用費	495	20 貸付金	0	計	693

事業概要	「河童の泉」の維持管理に係る光熱水費及び点検委託料等。
事業目的	水木しげるロードの人気スポットであり、各種のイベント会場となる「河童の泉」の維持管理を行う。また、維持管理を官民協働で取り組むことにより、地元の参画意識の高揚を図る。
現状、背景	平成 20 年 3 月に水木しげるロードに新たな観光スポットとして整備。維持管理及び経費負担を、水木しげるロード振興会とともに、官民協働で行っている。
その他	

会 計	款	7	商 工 費	所管課	事業名
一 般 会 計	項	1	商 工 費	10 観光振興課	8383 ゲゲゲの鬼太郎ゲタ飛ばし大会開催補助金
	目	3	観 光 費		

		予算額	節	予算額	節	予算額	節	予算額
事業費		85	01 報酬	0	11 役務費	0	21 補填補償及び賠償金	0
財 源 内 訳	国庫支出金	0	02 給料	0	12 委託料	0	22 償還金利子及び割引料	0
	県支出金	0	03 職員手当等	0	13 使用料及び賃借料	0	23 投資及び出資金	0
	地方債	0	04 共済費	0	14 工事請負費	0	24 積立金	0
	その他	0	05 災害補償費	0	15 原材料費	0	25 寄付金	0
	一般財源	85	06 恩給及び退職年金	0	16 公有財産購入費	0	26 公課費	0
今年度見直し内容			07 報償費	0	17 備品購入費	0	27 繰出金	0
			08 旅費	0	18 負担金補助及び交付金	85	30 予備費	0
			09 交際費	0	19 扶助費	0		
			10 需用費	0	20 貸付金	0	計	85

事業概要	境港青年会議所が観光振興及び地域活性化イベントとして開催する「ゲゲゲの鬼太郎ゲタ飛ばし大会」の会場設営及び広告宣伝に係る経費に対する補助。
事業目的	毎年、全国に向けた情報発信を行う「ゲゲゲの鬼太郎ゲタ飛ばし大会」の開催を支援し、本市のPRを行う。
現状、背景	令和 2 年度で第 22 回を迎えるこのイベントは、境港青年会議所のまちづくり事業のひとつ。ゲタ飛ばしという単純明快な競技であり、老若男女を問わず、多数の参加があるほか、運営に多くの市民がボランティアスタッフとして参加している。マスコミ等を通じて境港市の情報発信・PRに寄与している。
その他	

会 計	款	7	商 工 費	所管課	事業名
一 般 会 計	項	1	商 工 費	10 観光振興課	8961 山陰観光連盟会費
	目	3	観 光 費		

		予算額	節	予算額	節	予算額	節	予算額
事業費		190	01 報酬	0	11 役務費	0	21 補填補償及び賠償金	0
財 源 内 訳	国庫支出金	0	02 給料	0	12 委託料	0	22 償還金利子及び割引料	0
	県支出金	0	03 職員手当等	0	13 使用料及び賃借料	0	23 投資及び出資金	0
	地方債	0	04 共済費	0	14 工事請負費	0	24 積立金	0
	その他	0	05 災害補償費	0	15 原材料費	0	25 寄付金	0
	一般財源	190	06 恩給及び退職年金	0	16 公有財産購入費	0	26 公課費	0
今年度見直し内容			07 報償費	0	17 備品購入費	0	27 繰出金	0
			08 旅費	0	18 負担金補助及び交付金	190	30 予備費	0
			09 交際費	0	19 扶助費	0		
			10 需用費	0	20 貸付金	0	計	190

事業概要	山陰地方への観光客誘致を図るためにポスターや観光パンフレットの作成・配布、ソフト事業を行う山陰観光連盟の会費。
事業目的	境港市へのアクセス手段のひとつであるＪＲ境線の利用増及び観光誘客を図る。
現状、背景	昭和 37 年に結成され、事務局はＪＲ西日本米子支社内に設置。「山陰旅図鑑」（年 4 回・28,000 部）の京阪神・山陽・四国主要駅への配布や鉄道を用いた商品開発など、ＪＲ西日本のネットワークを活かした誘客事業を展開している。
その他	

会 計	款	7	商 工 費	所管課	事業名
一 般 会 計	項	1	商 工 費	10 観光振興課	8965 鳥取県観光連盟会費
	目	3	観 光 費		

		予算額	節	予算額	節	予算額	節	予算額
事業費		679	01 報酬	0	11 役務費	0	21 補填補償及び賠償金	0
財 源 内 訳	国庫支出金	0	02 給料	0	12 委託料	0	22 償還金利子及び割引料	0
	県支出金	0	03 職員手当等	0	13 使用料及び賃借料	0	23 投資及び出資金	0
	地方債	0	04 共済費	0	14 工事請負費	0	24 積立金	0
	その他	0	05 災害補償費	0	15 原材料費	0	25 寄付金	0
	一般財源	679	06 恩給及び退職年金	0	16 公有財産購入費	0	26 公課費	0
今年度見直し内容			07 報償費	0	17 備品購入費	0	27 繰出金	0
			08 旅費	0	18 負担金補助及び交付金	679	30 予備費	0
			09 交際費	0	19 扶助費	0		
			10 需用費	0	20 貸付金	0	計	679

事業概要	観光プロモーターを活用した観光客誘致対策を中心に、鳥取県内の観光振興及び地域の活性化を図っている鳥取県観光連盟の会費。
事業目的	同連盟が取り組む観光素材提供や、商品造成化やおもてなし講座などにより、誘客及び情報発信、観光従事者のスキルアップを図る。
現状、背景	平成 4 年設立。関東、中京、関西圏、中四国・九州担当観光プロモーターが、旅行社に商品造成を働きかけ観光客誘致に取り組んでいる。また、「山陰観光キャンペーン」や w e b を利用した観光素材提供などの情報発信を行っている。
その他	

会 計	款	7	商 工 費	所管課	事業名
一 般 会 計	項	1	商 工 費	10 観光振興課	8974 みなと祭実行委員会補助金
	目	3	観 光 費		

		予算額	節	予算額	節	予算額	節	予算額
事業費		4,200	01 報酬	0	11 役務費	0	21 補填補償及び賠償金	0
財 源 内 訳	国庫支出金	0	02 給料	0	12 委託料	0	22 償還金利子及び割引料	0
	県支出金	0	03 職員手当等	0	13 使用料及び賃借料	0	23 投資及び出資金	0
	地方債	0	04 共済費	0	14 工事請負費	0	24 積立金	0
	その他	0	05 災害補償費	0	15 原材料費	0	25 寄付金	0
	一般財源	4,200	06 恩給及び退職年金	0	16 公有財産購入費	0	26 公課費	0
今年度見直し内容			07 報償費	0	17 備品購入費	0	27 繰出金	0
29 年度の「妖怪ジャズフェスティバル」は出演者等を見直し、チケット販売枚数及び当日入場者数が大幅に改善された。			08 旅費	0	18 負担金補助及び交付金	4,200	30 予備費	0
			09 交際費	0	19 扶助費	0		
			10 需用費	0	20 貸付金	0	計	4,200

事業概要	「みなと祭」及び前夜祭である「境港妖怪ジャズフェスティバル」の開催支援補助金。
事業目的	観光振興や地域の文化継承に加え、各種団体や民間企業等の参加により、住民参画の気運を高める。
現状、背景	令和 2 年度で 75 回目を数える。当日は大漁祈願祭を皮切りに、踊りパレード、お祭広場の各種イベントなどに加え花火大会を開催。前日は前夜祭として「第 19 回境港妖怪ジャズフェスティバル」を開催。
その他	

会 計	款	7	商 工 費	所管課	事業名
一 般 会 計	項	1	商 工 費	10 観光振興課	8975 桜まつり実行委員会補助金
	目	3	観 光 費		

		予算額	節	予算額	節	予算額	節	予算額
事業費		285	01 報酬	0	11 役務費	0	21 補填補償及び賠償金	0
財 源 内 訳	国庫支出金	0	02 給料	0	12 委託料	0	22 償還金利子及び割引料	0
	県支出金	0	03 職員手当等	0	13 使用料及び賃借料	0	23 投資及び出資金	0
	地方債	0	04 共済費	0	14 工事請負費	0	24 積立金	0
	その他	0	05 災害補償費	0	15 原材料費	0	25 寄付金	0
	一般財源	285	06 恩給及び退職年金	0	16 公有財産購入費	0	26 公課費	0
今年度見直し内容			07 報償費	0	17 備品購入費	0	27 繰出金	0
			08 旅費	0	18 負担金補助及び交付金	285	30 予備費	0
			09 交際費	0	19 扶助費	0		
			10 需用費	0	20 貸付金	0	計	285

事業概要	境台場公園で開催される桜まつり開催事業費に対する補助。
事業目的	桜まつりの開催を支援し、地域振興及び住民の交流を図る。
現状、背景	桜まつりは境台場公園で毎年開催。期間中、ステージイベントやゲートボール大会など各種イベント、夜は雪洞によるライトアップを実施。
その他	中浜サントピアの桜まつりは平成 24 年度で終了（実施主体消滅による）。

会 計	款	7	商 工 費	所管課	事業名
一 般 会 計	項	1	商 工 費	10 観光振興課	8977 境港妖怪検定補助金
	目	3	観 光 費		

		予算額	節	予算額	節	予算額	節	予算額
事業費		360	01 報酬	0	11 役務費	0	21 補填補償及び賠償金	0
財 源 内 訳	国庫支出金	0	02 給料	0	12 委託料	0	22 償還金利子及び割引料	0
	県支出金	0	03 職員手当等	0	13 使用料及び賃借料	0	23 投資及び出資金	0
	地方債	0	04 共済費	0	14 工事請負費	0	24 積立金	0
	その他	0	05 災害補償費	0	15 原材料費	0	25 寄付金	0
	一般財源	360	06 恩給及び退職年金	0	16 公有財産購入費	0	26 公課費	0
今年度見直し内容			07 報償費	0	17 備品購入費	0	27 繰出金	0
			08 旅費	0	18 負担金補助及び交付金	360	30 予備費	0
			09 交際費	0	19 扶助費	0		
			10 需用費	0	20 貸付金	0	計	360

事業概要	境港市出身の水木しげる氏の妖怪に関する考察をもとに、ご当地検定として境港商工会議所が開催する「境港妖怪検定」に対する補助。
事業目的	「境港妖怪検定」を通じて「さかなと鬼太郎のまち境港」を本市の観光イメージとして全国に普及、浸透させ、文化・観光の振興を図る。
現状、背景	平成 18 年からご当地検定として開催され、毎回、県内外から多くの受験者が集う。平成 19 年度以降、初級に加えて中級検定を実施。平成 22 年度以降は、最難関となる上級検定を実施。平成 31 年度受験者数：270 人
その他	

会 計	款	7	商 工 費	所管課	事業名
一 般 会 計	項	1	商 工 費	10 観光振興課	9405 松江・境港・隠岐観光振興事業
	目	3	観 光 費		

		予算額	節	予算額	節	予算額	節	予算額
事業費		47	01 報酬	0	11 役務費	0	21 補填補償及び賠償金	0
財 源 内 訳	国庫支出金	0	02 給料	0	12 委託料	0	22 償還金利子及び割引料	0
	県支出金	0	03 職員手当等	0	13 使用料及び賃借料	0	23 投資及び出資金	0
	地方債	0	04 共済費	0	14 工事請負費	0	24 積立金	0
	その他	0	05 災害補償費	0	15 原材料費	0	25 寄付金	0
	一般財源	47	06 恩給及び退職年金	0	16 公有財産購入費	0	26 公課費	0
今年度見直し内容			07 報償費	0	17 備品購入費	0	27 繰出金	0
			08 旅費	47	18 負担金補助及び交付金	0	30 予備費	0
			09 交際費	0	19 扶助費	0		
			10 需用費	0	20 貸付金	0	計	47

事業概要	松江・境港・隠岐が連携して「観光の魅力の創出に関する事業」、「滞在型観光の推進に関する事業」を行う。
事業目的	松江、境港、隠岐相互の連携によって、当該圏域の魅力の創出を図る事業を展開することにより、県内外からの観光客の誘客並びに滞在型観光の推進を図る。
現状、背景	境港市は、以前より松江市とは中海・宍道湖・大山圏域市長会等を通じ、隠岐とは水木しげるロード延長プロジェクト等を通じて連携を行っている。
その他	

会 計	款	7	商 工 費	所管課	事業名
一 般 会 計	項	1	商 工 費	10 観光振興課	9637 境港市観光振興プラン検討事業
	目	3	観 光 費		

		予算額	節	予算額	節	予算額	節	予算額
事業費		57	01 報酬	0	11 役務費	0	21 補填補償及び賠償金	0
財 源 内 訳	国庫支出金	0	02 給料	0	12 委託料	0	22 償還金利子及び割引料	0
	県支出金	0	03 職員手当等	0	13 使用料及び賃借料	0	23 投資及び出資金	0
	地方債	0	04 共済費	0	14 工事請負費	0	24 積立金	0
	その他	0	05 災害補償費	0	15 原材料費	0	25 寄付金	0
	一般財源	57	06 恩給及び退職年金	0	16 公有財産購入費	0	26 公課費	0
今年度見直し内容			07 報償費	57	17 備品購入費	0	27 繰出金	0
			08 旅費	0	18 負担金補助及び交付金	0	30 予備費	0
			09 交際費	0	19 扶助費	0		
			10 需用費	0	20 貸付金	0	計	57

事業概要	平成 23 年 3 月に策定された「境港市観光振興プラン」について、推進委員会を組織し、観光振興プランの進捗状況と今後のあり方について検討、見直しを行う。
事業目的	境港市観光振興プランの推進を図り、本市観光の持続的な発展と活性化を図る。
現状、背景	現在、観光振興プランの重点施策 35 項目中、31 項目について、実施及び着手済み。
その他	

会 計	款	7	商 工 費	所管課	事業名
一 般 会 計	項	1	商 工 費	10 観光振興課	9738 水木しげるロード振興会年会費
	目	3	観 光 費		

		予算額	節	予算額	節	予算額	節	予算額
事業費		15	01 報酬	0	11 役務費	0	21 補填補償及び賠償金	0
財 源 内 訳	国庫支出金	0	02 給料	0	12 委託料	0	22 償還金利子及び割引料	0
	県支出金	0	03 職員手当等	0	13 使用料及び賃借料	0	23 投資及び出資金	0
	地方債	0	04 共済費	0	14 工事請負費	0	24 積立金	0
	その他	15	05 災害補償費	0	15 原材料費	0	25 寄付金	0
	一般財源	0	06 恩給及び退職年金	0	16 公有財産購入費	0	26 公課費	0
今年度見直し内容			07 報償費	0	17 備品購入費	0	27 繰出金	0
			08 旅費	0	18 負担金補助及び交付金	15	30 予備費	0
			09 交際費	0	19 扶助費	0		
			10 需用費	0	20 貸付金	0	計	15

事業概要	水木しげるロード振興会の年会費。
事業目的	水木しげるロード振興会と連携し、一体となった観光振興を図る。
現状、背景	水木しげるロード振興会は、ロードにおける観光振興の推進母体であり、市（水木しげる記念館）が会員となっている。民間組織である振興会がイベントや情報発信が積極的に行われるよう、理事会等にも参画し連携を図っている。
その他	

会 計	款	7	商 工 費	所管課	事業名
一 般 会 計	項	1	商 工 費	10 観光振興課	9765 市内観光施設無料シャトルバス運行事業補助金
	目	3	観 光 費		

		予算額	節	予算額	節	予算額	節	予算額
事業費		252	01 報酬	0	11 役務費	0	21 補填補償及び賠償金	0
財 源 内 訳	国庫支出金	0	02 給料	0	12 委託料	0	22 償還金利子及び割引料	0
	県支出金	0	03 職員手当等	0	13 使用料及び賃借料	0	23 投資及び出資金	0
	地方債	0	04 共済費	0	14 工事請負費	0	24 積立金	0
	その他	0	05 災害補償費	0	15 原材料費	0	25 寄付金	0
	一般財源	252	06 恩給及び退職年金	0	16 公有財産購入費	0	26 公課費	0
今年度見直し内容			07 報償費	0	17 備品購入費	0	27 繰出金	0
			08 旅費	0	18 負担金補助及び交付金	252	30 予備費	0
			09 交際費	0	19 扶助費	0		
			10 需用費	0	20 貸付金	0	計	252

事業概要	民間観光施設が連携して運行する無料シャトルバスの運行への補助。
事業目的	水木しげるロード、台場公園、水産物直売施設、夢みなとタワー等を結ぶ観光客向けの二次交通を運行し、本市を訪れる観光客の周遊性を高め、市内での消費を拡大する。
現状、背景	繁忙期であるゴールデンウィークやお盆時期に、民間観光施設が連携して事業費を負担し無料シャトルバスを運行している。運行に必要な経費の約 1/2 を市が負担し、観光客の周遊を広げ消費の拡大につながっている。
その他	

会 計	款	7	商 工 費	所管課	事業名
一 般 会 計	項	1	商 工 費	10 観光振興課	9880 情報発信連携強化事業
	目	3	観 光 費		

		予算額	節	予算額	節	予算額	節	予算額
事業費		5,262	01 報酬	0	11 役務費	108	21 補填補償及び賠償金	0
財 源 内 訳	国庫支出金	144	02 給料	0	12 委託料	2,416	22 償還金利子及び割引料	0
	県支出金	1,150	03 職員手当等	0	13 使用料及び賃借料	152	23 投資及び出資金	0
	地方債	0	04 共済費	0	14 工事請負費	0	24 積立金	0
	その他	0	05 災害補償費	0	15 原材料費	0	25 寄付金	0
	一般財源	3,968	06 恩給及び退職年金	0	16 公有財産購入費	0	26 公課費	0
今年度見直し内容			07 報償費	0	17 備品購入費	0	27 繰出金	0
※H28年度は№10484「情報発信連携・強化事業」で実施。H29 年度からは当初の事業計画どおり№9880「情報発信連携強化事業」に戻す			08 旅費	863	18 負担金補助及び交付金	0	30 予備費	0
			09 交際費	0	19 扶助費	0		
			10 需用費	1,723	20 貸付金	0	計	5,262

事業概要	各団体（観光振興プラン策定委員メンバー他）と情報発信の連携強化を図る。特に、鉄道、飛行機、船などの交通機関に係わる事業者との連携により、全国をターゲットとした情報発信を行う。また、各種イベントと連携した情報発信を行う。
事業目的	全国に向け、本市観光の更なる知名度向上を図り、全国的な観光地としての定着を目指す。
現状、背景	平成２３年度に策定した「境港市観光振興プラン」重点施策として位置づけられている。
その他	

会 計	款	7	商 工 費	所管課	事業名
一 般 会 計	項	1	商 工 費	10 観光振興課	9939 松江・境港・隠岐観光振興協議会負担金
	目	3	観 光 費		

		予算額	節	予算額	節	予算額	節	予算額
事業費		300	01 報酬	0	11 役務費	0	21 補填補償及び賠償金	0
財 源 内 訳	国庫支出金	0	02 給料	0	12 委託料	0	22 償還金利子及び割引料	0
	県支出金	0	03 職員手当等	0	13 使用料及び賃借料	0	23 投資及び出資金	0
	地方債	0	04 共済費	0	14 工事請負費	0	24 積立金	0
	その他	0	05 災害補償費	0	15 原材料費	0	25 寄付金	0
	一般財源	300	06 恩給及び退職年金	0	16 公有財産購入費	0	26 公課費	0
今年度見直し内容			07 報償費	0	17 備品購入費	0	27 繰出金	0
			08 旅費	0	18 負担金補助及び交付金	300	30 予備費	0
			09 交際費	0	19 扶助費	0		
			10 需用費	0	20 貸付金	0	計	300

事業概要	松江・境港・隠岐が連携して「観光の魅力の創出に関する事業」、「滞在型観光の推進に関する事業」を行う。
事業目的	松江、境港、隠岐相互の連携によって、当該圏域の魅力の創出を図る事業を展開することにより、県内外からの観光客の誘客並びに滞在型観光の推進を図る。
現状、背景	境港市は、以前より松江市とは中海・宍道湖・大山圏域市長会等を通じ、隠岐とは水木しげるロード延長プロジェクト等を通じて連携を行っている。
その他	松江市、境港市、隠岐４町による負担金

会 計	款	7	商 工 費	所管課	事業名
一 般 会 計	項	1	商 工 費	10 観光振興課	10148 観光地美化対策事業
	目	3	観 光 費		

		予算額	節	予算額	節	予算額	節	予算額
事業費		8,222	01 報酬	0	11 役務費	0	21 補填補償及び賠償金	0
財 源 内 訳	国庫支出金	0	02 給料	0	12 委託料	8,222	22 償還金利子及び割引料	0
	県支出金	0	03 職員手当等	0	13 使用料及び賃借料	0	23 投資及び出資金	0
	地方債	0	04 共済費	0	14 工事請負費	0	24 積立金	0
	その他	0	05 災害補償費	0	15 原材料費	0	25 寄付金	0
	一般財源	8,222	06 恩給及び退職年金	0	16 公有財産購入費	0	26 公課費	0
今年度見直し内容			07 報償費	0	17 備品購入費	0	27 繰出金	0
			08 旅費	0	18 負担金補助及び交付金	0	30 予備費	0
			09 交際費	0	19 扶助費	0		
			10 需用費	0	20 貸付金	0	計	8,222

事業概要	市内観光地の美化及び観光客のおもてなしを実施する。委託先は、まつぼっくり事業所とし、障がい者の社会参画の促進を図る。
事業目的	障がい者の就労、社会参画の促進を図るとともに、観光客へのおもてなしを充実させ、観光地としての魅力度向上を図る。
現状、背景	水木しげるロードは、今や全国的な観光地となり、増加する観光客に対し、さらなる美化等により、おもてなしの充実を図る必要がある。
その他	

会 計	款	7	商 工 費	所管課	事業名
一 般 会 計	項	1	商 工 費	10 観光振興課	10172 クルーズ船観光客シャトルバス送迎事業
	目	3	観 光 費		

		予算額	節	予算額	節	予算額	節	予算額
事業費		2,158	01 報酬	0	11 役務費	0	21 補填補償及び賠償金	0
財 源 内 訳	国庫支出金	0	02 給料	0	12 委託料	0	22 償還金利子及び割引料	0
	県支出金	1,078	03 職員手当等	0	13 使用料及び賃借料	0	23 投資及び出資金	0
	地方債	0	04 共済費	0	14 工事請負費	0	24 積立金	0
	その他	0	05 災害補償費	0	15 原材料費	0	25 寄付金	0
	一般財源	1,080	06 恩給及び退職年金	0	16 公有財産購入費	0	26 公課費	0
今年度見直し内容			07 報償費	0	17 備品購入費	0	27 繰出金	0
			08 旅費	0	18 負担金補助及び交付金	2,050	30 予備費	0
			09 交際費	0	19 扶助費	0		
			10 需用費	108	20 貸付金	0	計	2,158

事業概要	クルーズ客船の利用客（オプションツアーに参加しないフリー客及びクルー）を対象とした二次交通対策として、港と境港駅前等の市街地を接続する有料シャトルバスの民間事業者による運行検証を実施し、その運行に係る赤字額の補助を行う。
事業目的	クルーズ客船の利用客（フリー客及びクルー）への交通手段を確保及び民間事業者による有料シャトルバス運行の可能性の検証。
現状、背景	近年、多くのクルーズ客船が境港に入港しているが、フリー客及びクルーについては港からの公共交通がなく、二次交通対策が大きな課題となっている。客船の増加に伴い、二次交通対策に要するコストも増大していたため、平成 30 年度より民間事業者による運行を試験的に実施し、今後有料シャトルバスの民間事業者による運行の可能性を検証する。
その他	

会 計	款	7	商 工 費	所管課	事業名
一 般 会 計	項	1	商 工 費	10 観光振興課	10308 着ぐるみによるおもてなし向上事業
	目	3	観 光 費		

		予算額	節	予算額	節	予算額	節	予算額
事業費		11,422	01 報酬	8,784	11 役務費	52	21 補填補償及び賠償金	0
財 源 内 訳	国庫支出金	0	02 給料	0	12 委託料	0	22 償還金利子及び割引料	0
	県支出金	0	03 職員手当等	0	13 使用料及び賃借料	29	23 投資及び出資金	0
	地方債	0	04 共済費	1,363	14 工事請負費	0	24 積立金	0
	その他	11,422	05 災害補償費	0	15 原材料費	0	25 寄付金	0
	一般財源	0	06 恩給及び退職年金	0	16 公有財産購入費	0	26 公課費	0
今年度見直し内容			07 報償費	0	17 備品購入費	0	27 繰出金	0
令和元年度事業として改修した家屋に、妖怪お休み処「砂かけ屋」の機能を移転させ、おもてなし拠点として稼働する。会計年度任用職員の勤務条件変更による不足分を補充する。			08 旅費	0	18 負担金補助及び交付金	0	30 予備費	0
			09 交際費	0	19 扶助費	0		
			10 需用費	1,194	20 貸付金	0	計	11,422

事業概要	水木しげる作品のキャラクターの着ぐるみによるおもてなしを行うことで、観光客の満足度を向上する。
事業目的	着ぐるみを活用するためにスタッフを確保し、観光客の満足度を向上する。着ぐるみをメンテナンスしキャラクターのイメージを維持する。
現状、背景	着ぐるみによるおもてなしが観光客に対して大変満足度が高い。市の会計年度任用職員5名の着ぐるみ隊員で運営している。現状の体制を維持し、効果的におもてなしをおこない、年間を通じて安定したサービスを提供していく。
その他	

会 計	款	7	商 工 費	所管課	事業名
一 般 会 計	項	1	商 工 費	10 観光振興課	10603 水木しげるロード維持管理事業
	目	3	観 光 費		

		予算額	節	予算額	節	予算額	節	予算額
事業費		7,444	01 報酬	0	11 役務費	22	21 補填補償及び賠償金	0
財 源 内 訳	国庫支出金	0	02 給料	0	12 委託料	4,623	22 償還金利子及び割引料	0
	県支出金	154	03 職員手当等	0	13 使用料及び賃借料	1,103	23 投資及び出資金	0
	地方債	0	04 共済費	0	14 工事請負費	0	24 積立金	0
	その他	0	05 災害補償費	0	15 原材料費	0	25 寄付金	0
	一般財源	7,290	06 恩給及び退職年金	0	16 公有財産購入費	0	26 公課費	0
今年度見直し内容			07 報償費	0	17 備品購入費	0	27 繰出金	0
平成 30 年度は、ロードリニューアルによ って設置された「演出照明」の維持管理 を新規要求。また、ロード上の看板やブ ロンズ像に点字プレートを設置し、バリ アフリーを推進する。			08 旅費	0	18 負担金補助及び交付金	0	30 予備費	0
			09 交際費	0	19 扶助費	0		
			10 需用費	1,696	20 貸付金	0	計	7,444

事業概要	水木しげるロードのブロンズ像やモニュメントなどの施設の点検・維持修繕等や、ロード沿線の公衆トイレの清掃・環境美化等の維持管理を行う。
事業目的	水木しげるロードを訪れる観光客をもてなすために、ブロンズ像や公衆トイレなどの施設を適切に維持管理し、観光振興に寄与する。
現状、背景	県内有数の観光地となった水木しげるロードには、今後も多くの観光客が見込まれ、訪れる方々に満足いくおもてなしをするために、ブロンズ像の定期的な点検・迅速な維持修繕や公衆トイレの清掃・環境美化に努める。
その他	

会 計	款	7	商 工 費	所管課	事業名
一 般 会 計	項	1	商 工 費	10 観光振興課	10618 水木しげる生誕祭開催事業
	目	3	観 光 費		

		予算額	節	予算額	節	予算額	節	予算額
事業費		881	01 報酬	0	11 役務費	0	21 補填補償及び賠償金	0
財 源 内 訳	国庫支出金	0	02 給料	0	12 委託料	384	22 償還金利子及び割引料	0
	県支出金	0	03 職員手当等	0	13 使用料及び賃借料	0	23 投資及び出資金	0
	地方債	0	04 共済費	0	14 工事請負費	0	24 積立金	0
	その他	0	05 災害補償費	0	15 原材料費	0	25 寄付金	0
	一般財源	881	06 恩給及び退職年金	0	16 公有財産購入費	0	26 公課費	0
今年度見直し内容			07 報償費	0	17 備品購入費	0	27 繰出金	0
			08 旅費	222	18 負担金補助及び交付金	0	30 予備費	0
			09 交際費	0	19 扶助費	0		
			10 需用費	275	20 貸付金	0	計	881

事業概要	平成 27 年 11 月に亡くなられた水木しげる先生の功績をたたえ、氏への感謝の気持ちを表すイベントを、鳥取県との共催により開催する。氏の誕生日である 3 月 8 日を基準に開催。氏の居住地であった東京都調布市では、命日である 11 月 30 日にイベントを開催しており、それとの連携により相乗効果を図る。
事業目的	水木しげる氏の顕彰と誘客を目的とした観光 P R
現状、背景	平成 28 年 3 月 8 日には「水木しげる先生を偲ぶ会」を鳥取県との共催により開催した。
その他	

会 計	款	7	商 工 費	所管課	事業名
一 般 会 計	項	1	商 工 費	10 観光振興課	10695「縁むすびスマートナビ」運営事業
	目	3	観 光 費		

		予算額	節	予算額	節	予算額	節	予算額
事業費		1,294	01 報酬	0	11 役務費	0	21 補填補償及び賠償金	0
財 源 内 訳	国庫支出金	0	02 給料	0	12 委託料	0	22 償還金利子及び割引料	0
	県支出金	0	03 職員手当等	0	13 使用料及び賃借料	0	23 投資及び出資金	0
	地方債	0	04 共済費	0	14 工事請負費	0	24 積立金	0
	その他	0	05 災害補償費	0	15 原材料費	0	25 寄付金	0
	一般財源	1,294	06 恩給及び退職年金	0	16 公有財産購入費	0	26 公課費	0
今年度見直し内容			07 報償費	0	17 備品購入費	0	27 繰出金	0
			08 旅費	0	18 負担金補助及び交付金	1,294	30 予備費	0
			09 交際費	0	19 扶助費	0		
			10 需用費	0	20 貸付金	0	計	1,294

事業概要	<p>中海・宍道湖・大山圏域市長会で連携して運営するスマートフォン向け観光アプリケーション「縁むすびスマートナビ」の運営費</p>
事業目的	<p>広域の観光情報がひとつのアプリケーションで提供することにより、観光客及び圏域住民の周遊につなげる。</p>
現状、背景	<p>平成 28 年度に地方創生加速化交付金（補助率 10/10）を活用し整備。システムの運用に必要なサーバー管理費用を圏域 5 市で負担する。</p>
その他	

会 計	款	7	商 工 費	所管課	事業名
一 般 会 計	項	1	商 工 費	10 観光振興課	10893 水木しげる記念館あり方検討事業
	目	3	観 光 費		

		予算額	節	予算額	節	予算額	節	予算額
事業費		405	01 報酬	0	11 役務費	0	21 補填補償及び賠償金	0
財 源 内 訳	国庫支出金	0	02 給料	0	12 委託料	0	22 償還金利子及び割引料	0
	県支出金	0	03 職員手当等	0	13 使用料及び賃借料	0	23 投資及び出資金	0
	地方債	0	04 共済費	0	14 工事請負費	0	24 積立金	0
	その他	405	05 災害補償費	0	15 原材料費	0	25 寄付金	0
	一般財源	0	06 恩給及び退職年金	0	16 公有財産購入費	0	26 公課費	0
今年度見直し内容			07 報償費	108	17 備品購入費	0	27 繰出金	0
委員の任期を令和3年3月31日までとしている。			08 旅費	297	18 負担金補助及び交付金	0	30 予備費	0
			09 交際費	0	19 扶助費	0		
			10 需用費	0	20 貸付金	0	計	405

事業概要	水木しげる記念館は建築後16年が経過しており、建物及び付属設備の劣化が進んでいる。修繕を行っても今後施設の老朽化が進み、維持管理費用が年々増加していくことが見込まれる。このため、長期的には建替えについても検討する必要がある。
事業目的	建物及び付属設備を修繕した場合と新築の場合の経費及びメリット、デメリットを比較検討することで今後の方針を決定する。
現状、背景	外壁、屋根の劣化・損傷及び空調設備の劣化が進んでおり、業者からは全面的に取り換える必要があると言われている。
その他	

会 計	款	7	商 工 費	所管課	事業名
一 般 会 計	項	1	商 工 費	10 観光振興課	10894 一般社団法人中海・宍道湖・大山圏域観光局負担金
	目	3	観 光 費		

		予算額	節	予算額	節	予算額	節	予算額
事業費		450	01 報酬	0	11 役務費	0	21 補填補償及び賠償金	0
財 源 内 訳	国庫支出金	0	02 給料	0	12 委託料	0	22 償還金利子及び割引料	0
	県支出金	0	03 職員手当等	0	13 使用料及び賃借料	0	23 投資及び出資金	0
	地方債	0	04 共済費	0	14 工事請負費	0	24 積立金	0
	その他	0	05 災害補償費	0	15 原材料費	0	25 寄付金	0
	一般財源	450	06 恩給及び退職年金	0	16 公有財産購入費	0	26 公課費	0
今年度見直し内容			07 報償費	0	17 備品購入費	0	27 繰出金	0
			08 旅費	0	18 負担金補助及び交付金	450	30 予備費	0
			09 交際費	0	19 扶助費	0		
			10 需用費	0	20 貸付金	0	計	450

事業概要	中海・宍道湖・大山圏域を一体的な経済・観光圏として捉え、広域観光を推進するための負担金。
事業目的	中海・宍道湖・大山圏域が連携を図り観光客の滞在期間の延長を促し、圏域の経済・文化・観光の振興・発展を図る。
現状、背景	平成 17 年度に中海周辺四市の行政、商工団体等により設立された中海・宍道湖・大山圏域観光連携事業推進協議会が平成 31 年 2 月 6 日をもって解散。 当協議会の事業を一般社団法人中海・宍道湖・大山圏域観光局が引き継ぐ形で実施していく。
その他	

会 計	款	7	商 工 費	所管課	事業名
一 般 会 計	項	1	商 工 費	10 観光振興課	10924 境港利用促進事業
	目	3	観 光 費		

		予算額	節	予算額	節	予算額	節	予算額
事業費		395	01 報酬	0	11 役務費	0	21 補填補償及び賠償金	0
財 源 内 訳	国庫支出金	0	02 給料	0	12 委託料	0	22 償還金利子及び割引料	0
	県支出金	0	03 職員手当等	0	13 使用料及び賃借料	0	23 投資及び出資金	0
	地方債	0	04 共済費	0	14 工事請負費	0	24 積立金	0
	その他	0	05 災害補償費	0	15 原材料費	0	25 寄付金	0
	一般財源	395	06 恩給及び退職年金	0	16 公有財産購入費	0	26 公課費	0
今年度見直し内容			07 報償費	0	17 備品購入費	0	27 繰出金	0
			08 旅費	296	18 負担金補助及び交付金	0	30 予備費	0
			09 交際費	0	19 扶助費	0		
			10 需用費	99	20 貸付金	0	計	395

事業概要	境港（さかいこう）へのクルーズ客船の寄港増加を図るため、関係機関との情報交換やクルーズ客船誘致のためのポートセールス等を実施する。
事業目的	環日本海の交流拠点として境港（さかいこう）の利用促進、クルーズ客船の誘致を図り、地域経済の発展に資する。
現状、背景	境港（さかいこう）は、アジアにおけるクルーズ観光の需要の増大や、境港管理組合の積極的な誘致活動により、クルーズ客船の寄港地として定着しつつある。
その他	

会 計	款	7	商 工 費	所管課	事業名
一 般 会 計	項	1	商 工 費	10 観光振興課	10930 水木しげる記念館企画展示室リニューアル事業
	目	3	観 光 費		

		予算額	節	予算額	節	予算額	節	予算額
事業費		3,000	01 報酬	0	11 役務費	0	21 補填補償及び賠償金	0
財 源 内 訳	国庫支出金	0	02 給料	0	12 委託料	3,000	22 償還金利子及び割引料	0
	県支出金	1,500	03 職員手当等	0	13 使用料及び賃借料	0	23 投資及び出資金	0
	地方債	0	04 共済費	0	14 工事請負費	0	24 積立金	0
	その他	1,500	05 災害補償費	0	15 原材料費	0	25 寄付金	0
	一般財源	0	06 恩給及び退職年金	0	16 公有財産購入費	0	26 公課費	0
今年度見直し内容			07 報償費	0	17 備品購入費	0	27 繰出金	0
			08 旅費	0	18 負担金補助及び交付金	0	30 予備費	0
			09 交際費	0	19 扶助費	0		
			10 需用費	0	20 貸付金	0	計	3,000

事業概要	水木しげる記念館「企画展示室」の展示品の入れ替えを行う。
事業目的	水木しげる記念館「企画展示室」は、展示品を定期的に入れ替えを行うことにより、リピーター観光客の誘客を図る。
現状、背景	水木しげる記念館のあり方について検討を進めているところではあるが、平成 30 年 7 月に実施した「水木しげるロードリニューアル」から 1 年を経過し、ロードの入込客及び記念館の入館者はいずれも減少傾向にある。
その他	

会 計	款	7	商 工 費	所管課	事業名
一 般 会 計	項	1	商 工 費	10 観光振興課	10940 大山山麓・日野川流域観光推進協議会
	目	3	観 光 費		

		予算額	節	予算額	節	予算額	節	予算額
事業費		3,423	01 報酬	0	11 役務費	0	21 補填補償及び賠償金	0
財 源 内 訳	国庫支出金	699	02 給料	0	12 委託料	0	22 償還金利子及び割引料	0
	県支出金	0	03 職員手当等	0	13 使用料及び賃借料	0	23 投資及び出資金	0
	地方債	0	04 共済費	0	14 工事請負費	0	24 積立金	0
	その他	0	05 災害補償費	0	15 原材料費	0	25 寄付金	0
	一般財源	2,724	06 恩給及び退職年金	0	16 公有財産購入費	0	26 公課費	0
今年度見直し内容			07 報償費	0	17 備品購入費	0	27 繰出金	0
			08 旅費	0	18 負担金補助及び交付金	3,423	30 予備費	0
			09 交際費	0	19 扶助費	0		
			10 需用費	0	20 貸付金	0	計	3,423

事業概要	大山山麓エリアに位置する鳥取県西部の9市町村で組織された協議会が実施する大山1300年祭レガシー事業や地方創生部会事業等の広域的な観光振興を推進する協議会への負担金
事業目的	大山山麓エリアに位置する鳥取県西部の9市町村で組織された協議会が実施する大山1300年祭レガシー事業や地方創生部会事業等の広域的な観光振興を推進する協議会への負担金
現状、背景	H30 年度まで「大山山麓観光推進協議会」として広域観光振興を推進していたが、令和元年より日野町・日南町を加えた2市6町1村と県により「大山1300年祭」のレガシー事業を引き継ぎ、「大山山麓観光推進協議会」を「大山山麓・日野川流域可能推進協議会」に改組して広域観光振興を推進する。
その他	

会 計	款	7	商 工 費	所管課	事業名
一 般 会 計	項	1	商 工 費	10 観光振興課	10941 世界妖怪会議観光PR事業
	目	3	観 光 費		

		予算額	節	予算額	節	予算額	節	予算額
事業費		770	01 報酬	0	11 役務費	0	21 補填補償及び賠償金	0
財 源 内 訳	国庫支出金	0	02 給料	0	12 委託料	770	22 償還金利子及び割引料	0
	県支出金	0	03 職員手当等	0	13 使用料及び賃借料	0	23 投資及び出資金	0
	地方債	0	04 共済費	0	14 工事請負費	0	24 積立金	0
	その他	0	05 災害補償費	0	15 原材料費	0	25 寄付金	0
	一般財源	770	06 恩給及び退職年金	0	16 公有財産購入費	0	26 公課費	0
今年度見直し内容			07 報償費	0	17 備品購入費	0	27 繰出金	0
			08 旅費	0	18 負担金補助及び交付金	0	30 予備費	0
			09 交際費	0	19 扶助費	0		
			10 需用費	0	20 貸付金	0	計	770

事業概要	日本だけでなく世界各地の妖怪に造形の深い識者が集う「世界妖怪会議」（(株) KADOKAWA主催）において、日本を代表する妖怪の地である「境港市」の「水木しげるロード」、「水木しげる記念館」をPRし、国内外からの誘客を図る。
事業目的	日本だけでなく世界各地の妖怪に造形の深い識者が集う「世界妖怪会議」（(株) KADOKAWA主催）において、日本を代表する妖怪の地である「境港市」の「水木しげるロード」、「水木しげる記念館」をPRし、国内外からの誘客を図る。
現状、背景	昨年までは、妖怪にゆかりのある3県（鳥取県、岩手県、徳島県）の連携事業として、『怪フォーラム』を開催していたが、令和元年度は東京都調布市にて『降臨ピック』を開催するが、来年度以降『怪フォーラム』の開催は未定。
その他	

会 計	款	7	商 工 費	所管課	事業名
一 般 会 計	項	1	商 工 費	10 観光振興課	10942 水木しげるロード 4000 万人突破記念事業
	目	3	観 光 費		

		予算額	節	予算額	節	予算額	節	予算額
事業費		750	01 報酬	0	11 役務費	0	21 補填補償及び賠償金	0
財 源 内 訳	国庫支出金	0	02 給料	0	12 委託料	0	22 償還金利子及び割引料	0
	県支出金	0	03 職員手当等	0	13 使用料及び賃借料	0	23 投資及び出資金	0
	地方債	0	04 共済費	0	14 工事請負費	0	24 積立金	0
	その他	0	05 災害補償費	0	15 原材料費	0	25 寄付金	0
	一般財源	750	06 恩給及び退職年金	0	16 公有財産購入費	0	26 公課費	0
今年度見直し内容			07 報償費	0	17 備品購入費	0	27 繰出金	0
			08 旅費	0	18 負担金補助及び交付金	750	30 予備費	0
			09 交際費	0	19 扶助費	0		
			10 需用費	0	20 貸付金	0	計	750

事業概要	水木しげるロードの累計入込客数が、令和２年度中に 4000 万人を突破する見込みであることから、これまでの感謝の意を込め記念セレモニー及び記念事業を開催する。
事業目的	水木しげるロードの累計入込客数 4000 万人突破の節目を祝い、これまでに訪れた観光客及び市民、関係者へ感謝するとともに全国的な観光地としての P Rを図り、今後の更なる発展の契機とすることを目的とする。
現状、背景	★累計入込客数：38,644,272 人（R1.10 末時点） ★年間入込客数：2,743,674 人（H30） 2,041,235 人（H29） 2,146,545 人（H28）
その他	1000 万人、2000 万人、3000 万人突破時と同様に市内関係組織で実行委員会を立ち上げ各機関が事業費を負担する方針。

会 計	款	7	商 工 費	所管課	事業名
一 般 会 計	項	1	商 工 費	10 観光振興課	10943 サイクルトレイン催行事業補助金
	目	3	観 光 費		

		予算額	節	予算額	節	予算額	節	予算額
事業費		1,000	01 報酬	0	11 役務費	0	21 補填補償及び賠償金	0
財 源 内 訳	国庫支出金	0	02 給料	0	12 委託料	0	22 償還金利子及び割引料	0
	県支出金	0	03 職員手当等	0	13 使用料及び賃借料	0	23 投資及び出資金	0
	地方債	0	04 共済費	0	14 工事請負費	0	24 積立金	0
	その他	0	05 災害補償費	0	15 原材料費	0	25 寄付金	0
	一般財源	1,000	06 恩給及び退職年金	0	16 公有財産購入費	0	26 公課費	0
今年度見直し内容			07 報償費	0	17 備品購入費	0	27 繰出金	0
			08 旅費	0	18 負担金補助及び交付金	1,000	30 予備費	0
			09 交際費	0	19 扶助費	0		
			10 需用費	0	20 貸付金	0	計	1,000

事業概要	弓ヶ浜サイクリングコースが全線開通（R2.3）に合わせて、大山山麓・日野川流域観光推進協議会が主催する「サイクルトレイン催行事業」に対する地元負担金。
事業目的	弓ヶ浜サイクリングコースを JR 境線と組み合わせることにより、サイクリングと観光を結びつけるとともにサイクリングロードのPR及び利用者の増加を図る。
現状、背景	弓ヶ浜サイクリングロード ・部分開通：令和元年6月15日（夢みなとタワー～夜見町） ・全線開通：令和2年3月下旬予定
その他	

会 計	款	7	商 工 費	所管課	事業名
一 般 会 計	項	1	商 工 費	10 観光振興課	10944 弓ヶ浜サイクリングコース活用イベント支援事業
	目	3	観 光 費		

		予算額	節	予算額	節	予算額	節	予算額
事業費		500	01 報酬	0	11 役務費	0	21 補填補償及び賠償金	0
財 源 内 訳	国庫支出金	0	02 給料	0	12 委託料	0	22 償還金利子及び割引料	0
	県支出金	0	03 職員手当等	0	13 使用料及び賃借料	0	23 投資及び出資金	0
	地方債	0	04 共済費	0	14 工事請負費	0	24 積立金	0
	その他	0	05 災害補償費	0	15 原材料費	0	25 寄付金	0
	一般財源	500	06 恩給及び退職年金	0	16 公有財産購入費	0	26 公課費	0
今年度見直し内容			07 報償費	0	17 備品購入費	0	27 繰出金	0
			08 旅費	0	18 負担金補助及び交付金	500	30 予備費	0
			09 交際費	0	19 扶助費	0		
			10 需用費	0	20 貸付金	0	計	500

事業概要	弓ヶ浜サイクリングコースを活用し、アウトドアツーリズム資源としての同コースの魅力発信及びコース沿線地域の振興に資する取り組み（イベント）に対して支援を行う。
事業目的	弓ヶ浜サイクリングコースを活用し、アウトドアツーリズム資源としての同コースの魅力発信及びコース沿線地域の振興に資する取り組み（イベント）に対して支援を行う。
現状、背景	弓ヶ浜サイクリングロード ・部分開通：令和元年6月15日（夢みなとタワー～夜見町） ・全線開通：令和2年3月下旬予定
その他	